

三郷町教育委員会
教育に関する事務の点検及び評価報告書
(平成23年度実施分)

平成24年9月

三郷町教育委員会

目 次

はじめに	1
点検・評価の概要	2
町教育委員会の活動状況	3
施策及び事業の点検・評価	7
1. 総合計画との対応関係	8
2. 平成23年度主要事業と進捗状況	9
3. 点検・評価項目	
学校施設の整備	10
教職員研修の充実	12
就園・就学の支援	14
特別支援教育の推進	16
情報・国際教育の推進	18
いじめ・不登校の対策	20
地域の教育力の向上	22
安全・安心の学校づくり	24
学校給食体制の整備	26
幼児教育の充実	28
放課後児童クラブの充実	30
生涯学習の推進	32
青少年の健全育成	34
人権教育・啓発の推進	36
文化センターの充実	38
文化活動への支援	40
図書館の充実	42
文化財の保護と活用	44
生涯スポーツの推進	46
スポーツ施設の整備	48
学識経験者の知見の活用	50

はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、平成20年4月から、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。（同法第27条第1項）

同法の規定に基づき、平成23年度実施分の教育に関する事務の点検及び評価を行いましたので、その結果をまとめ報告いたします。

平成24年9月

三郷町教育委員会

委員長	芝崎	善彦
委員	川崎	洋子
委員	鶴丸	浩
委員	森川	征浩
委員（教育長）	山野	一明

点検・評価の概要

1. 点検・評価の目的

町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況を点検及び評価を行うことで、これまで取り組んできた施策の課題等を明らかにし、効果的な教育行政の推進を図るとともに、その結果を公表することにより開かれた教育行政を推進することを目的としています。

2. 点検・評価の対象

点検及び評価は、平成23年度の実績に基づき、「町教育委員会の活動状況」及び「町教育委員会が実施する施策及び事業」を対象としています。

3. 点検・評価の実施方法

町教育委員会の活動状況については、平成23年度の教育委員会議の開催状況や審議事項等を総括し点検しました。

町教育委員会が実施する施策及び事業については、「三郷町第4次総合計画」の施策体系ごとに、20の点検評価項目を設定し、それぞれの事務事業の平成23年度の実績について、「事業評価シート」にまとめました。

点検及び評価にあたっては、客観性を確保するため、外部の学識経験を有する方から、指導・助言を受け、報告書をまとめました。

【点検評価有識者】

氏名	所属・役職
米川 英樹	日本学生支援機構理事(元大阪教育大学教授)

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」～抜粋～

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

町教育委員会の活動状況

1. 教育委員

役職名	氏名
委員長	芝崎善彦
職務代理者	川崎洋子
委員	鶴丸浩
委員	森川征浩
教育長	山野一明

2. 教育委員会議の開催状況

定例会・・・11回

臨時会・・・4回

3. 教育委員会議の審議状況

審議事項・・・40件

報告事項・・・22件（各課別報告除く。）

次頁以降に、平成23年度の教育委員会の開催状況及び審議状況を記載しています。審議事項については、「議案」として、その他の報告事項については、「報告」に分類し記載しています。

4. 教育委員の活動状況

学校(園)計画訪問実施（年1回）

幼稚園1園、小学校2校、中学校1校

学校行事への参加

入学(園)式、卒業(園)式、運動会、体育祭、文化祭等

各種会議、行事、研修会等への参加

子どもの安全対策連絡会議、学校支援地域本部事業実行委員会、人権教育、青少年健全育成各種会議、各種研修・研究大会、成人式等

平成23年度 教育委員会議の開催状況について

会 議	平成23年 第4回定例教育委員会	開会日	平成23年4月21日(木)
報 告	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の人事異動について ・教育委員会事務局職員の人事異動について ・生駒郡地教委連絡協議会について ・生駒郡教育長会について ・教科用図書第四採択地区協議会について ・各課別報告 		
会 議	平成23年 第5回定例教育委員会	開会日	平成23年5月16日(月)
議 案	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員の委嘱について ・平成23年度町立学校(園)計画訪問の実施日程について ・三郷町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について ・三郷町立幼稚園の保育料等徴収条例施行規則の一部改正について 		
報 告	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員報告について ・各課別報告 		
会 議	平成23年 第4回臨時教育委員会	開会日	平成23年5月27日(金)
議 案	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校(園)からの保護者への対応について ・家庭事情に課題のあるケースの把握について ・子どもへのケア、サポート、カウンセリングについて 		
会 議	平成23年 第6回定例教育委員会	開会日	平成23年6月17日(金)
報 告	<ul style="list-style-type: none"> ・教育に関する事務の点検及び評価(平成22年度実施分)について ・給食費の滞納状況について ・財団法人三郷町文化振興財団の経営状況について ・各課別報告 		
会 議	平成23年 第5回臨時教育委員会	開会日	平成23年8月3日(水)
議 案	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校教科用図書の採択について 		
会 議	平成23年 第7回定例教育委員会	開会日	平成23年8月16日(火)
議 案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町学校給食集団食中毒緊急対策本部委員の委嘱及び任命について ・平成23年度町立学校(園)運動会・体育大会の実施日程について ・平成24年度三郷町立南畑幼稚園園児募集について ・教育に関する事務の点検及び評価報告書(平成22年度実施分)について ・三郷町スポーツ振興審議会条例の一部改正について ・三郷町スポーツ振興審議会運営規則の一部改正について ・三郷町体育指導委員の職務に関する規則の一部改正について ・三郷町教育委員会事務局組織に関する規則の一部改正について 		
報 告	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度町立学校(園)計画訪問の日程について ・各課別報告 		

会 議	平成 2 3 年 第 8 回定例教育委員会	開会日	平成 2 3 年 9 月 2 6 日(月)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町心身障害児就学指導委員会委員の委嘱について ・三郷町立学校の体育施設開放に関する条例施行規則の一部改正について ・平成 2 4 年三郷町成人式の開催について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 2 3 年第 3 回（ 9 月 ）三郷町議会定例会について ・教育に関する事務の点検及び評価報告書（平成 2 2 年度実施分）について ・図書館の利用状況について ・各課別報告 		
会 議	平成 2 3 年 第 6 回臨時教育委員会	開会日	平成 2 3 年 9 月 3 0 日(金)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町教育委員会委員長及び職務代理者の選任について 		
会 議	平成 2 3 年 第 9 回定例教育委員会	開会日	平成 2 3 年 1 0 月 2 1 日(金)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町心身障害児就学指導委員会への諮問について ・三郷町学校支援地域本部事業実行委員会委員の委嘱について ・三郷町竜田運動公園管理規則の一部を改正する規則について ・三郷町立勢野グラウンド管理規則の一部を改正する規則について ・三郷中央公園多目的広場管理規則の一部を改正する規則について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 2 4 年度三郷町立南畑幼稚園の園児募集状況について ・各課別報告 		
会 議	平成 2 3 年 第 7 回臨時教育委員会	開会日	平成 2 3 年 1 0 月 2 4 日(月)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局職員の処分について 		
会 議	平成 2 3 年 第 1 0 回定例教育委員会	開会日	平成 2 3 年 1 1 月 2 5 日(金)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町心身障害児就学指導委員会の答申について ・三郷町竜田運動公園管理規則の一部を改正する規則について（継続審議） ・三郷町立勢野グラウンド管理規則の一部を改正する規則について（継続審議） ・三郷中央公園多目的広場管理規則の一部を改正する規則について（継続審議） ・三郷町文化センター条例の一部を改正する条例について ・三郷町ウォーターパーク条例の一部を改正する条例について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 2 4 年度三郷町立南畑幼稚園の園児再募集状況について ・各課別報告 		

会 議	平成 2 3 年 第 1 1 回定例教育委員会	開会日	平成 2 3 年 1 2 月 2 1 日(水)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町心身障害児就学指導委員会への諮問について ・三郷町文化センター条例施行規則の一部を改正する規則について ・三郷町ウォーターパーク条例施行規則の一部を改正する規則について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食材料費の滞納整理状況について ・三郷町暴力団排除条例の制定について ・各課別報告 		
会 議	平成 2 4 年 第 1 回定例教育委員会	開会日	平成 2 4 年 1 月 2 4 日(火)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 2 3 年度卒業（園）式及び平成 2 4 年度入学（園）式について ・三郷町心身障害児就学指導委員会の答申について ・三郷町放課後児童クラブ条例施行規則の一部改正について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・学校欠席者サーベイランスの導入について ・各課別報告 		
会 議	平成 2 4 年 第 2 回定例教育委員会	開会日	平成 2 4 年 2 月 1 7 日(金)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町立学校の管理運営に関する規則の一部改正について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・各課別報告 		
会 議	平成 2 4 年 第 3 回定例教育委員会	開会日	平成 2 4 年 3 月 2 6 日(月)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員の委嘱について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食食材に関する放射性物質検査の実施について ・放射線副読本について ・平成 2 4 年度予算案の概要について ・平成 2 4 年度町立学校（園）の教育課程について ・各課別報告 		

施策及び事業の点検・評価

1. 点検・評価の項目

点検及び評価にあたっては、より効率的で実効性のあるものにするため、「三郷町第4次総合計画」を検証し、その施策体系を網羅するように、次頁の表のとおり、20の「点検・評価項目」を設定しています。

点検及び評価の方法については、各事業の課題とその改善方法・結果について、PDCAサイクル()に従って詳細に記載できるようにするとともに、成果指標と決算額を示すこととし、成果とコストを明らかにするようにしています。

また、昨年度に引き続き、それぞれの事業費について、国や県の補助事業であるものについては、そのことを明記するようにしています。

2. 点検・評価結果の内容

各項目は、1 基本事項、2 事業概要・目的、3 事業実績・結果、4 点検評価・課題、5 改善方法・結果、6 今後の計画・方向性に分類しています。

【基本事項】

施策の名称、担当課、総合計画の位置づけ及びその施策が目指す基本的な方向性を記載しています。

【事業概要・目的】

各施策に基づいて教育委員会が実施した事業の概要とその目的を記載しています。

【事業実績・結果】

実施した事業の実績及び結果を記載しています。数値については、平成23年度実績です。(「 」については、補助事業を示します。)

【点検評価・課題】

事業実績及び結果に基づき、事業の達成度、成果及び課題を記載しています。成果については、成果指標と決算額を数値で示しています。また、課題については、継続的な課題とともに、平成23年度における新たな課題に分類して記載しています。

【改善方法・結果】

継続的な課題に対する改善方法及び結果と新たな課題に対する改善方法の検討について記載しています。

【今後の計画・方向性】

事業の今後の方向性と計画について記載しています。

PDCAサイクル

計画(PLAN) 実行(DO) 点検(CHECK) 見直し(ACTION)の流れを次の計画に活かすことで、継続的な改善を図るプロセス。

三郷町第4次総合計画との対応関係

【総合計画の施策方針】

【点検・評価項目】

第1章 いきいきと笑顔で暮らせるまちをつくろう

第1節 子育て支援の充実

親と子の学びと成長への支援

第2節 学校教育の充実

学校施設の整備

教職員の資質向上

情報化・国際化に対応した教育環境の整備

学校給食体制の整備

「いじめ」や不登校児童・生徒に対する対策の充実

学校や登下校時の安全確保

地域とともに作る豊かな学校教育

子どもの非行防止

第3節 生涯学習・文化活動の振興

生涯学習推進体制の充実

文化センターの充実

文化活動団体への支援

図書館の充実

第4節 生涯スポーツと健康づくりの振興

自主的なクラブ・サークルやスポーツ団体の育成

青少年スポーツ活動の振興

総合型地域スポーツクラブの育成

障害者のスポーツ活動の充実

総合スポーツ施設の整備

第6節 障害者の自立支援

教育・育成支援の充実

第2章 みどり豊かな美しいまちをつくろう

第4節 歴史的環境の保全

文化財の保護と活用

民間団体による調査や歴史にふれる機会づくり

歴史的資料の発掘と保全・管理

第4章 みんなで協働するまちをつくろう

第1節 人権の尊重

人権尊重の啓発

相談の充実

学校施設の整備 1.2-

教職員研修の充実 1.2-

就園・就学の支援

特別支援教育の推進 1.6-

情報・国際教育の推進 1.2-

いじめ・不登校の対策 1.2-

地域の教育力の向上 1.2-

安全・安心の学校づくり 1.2-

学校給食体制の整備 1.2-

幼児教育の充実

放課後児童クラブの充実 1.1-

生涯学習の推進 1.3-

青少年の健全育成 1.2-

人権教育・啓発の推進 4.1-

文化センターの充実 1.3-

文化活動への支援 1.3-

図書館の充実 1.3-

文化財の保護と活用 2.4-

生涯スポーツの推進 1.4-

スポーツ施設の整備 1.4-

1. は、総合計画の施策方針と評価項目の対応関係を示す。

2. は、点検・評価項目と総合計画の施策方針の対応関係を示す。

凡例：1.1- = 第1章・第1節の

平成23年度主要事業と進捗状況

【評価項目】

【主要事業及び進捗状況】

上段は主要事業の内容、下段は年度計画事業や平成23年度重点項目。

学校施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、幼稚園の改修・整備工事 三郷中学校生徒用机・椅子入替事業(計画3年目事業完了) 耐震化率:100%
教職員研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校、幼稚園の教職員研修、県実施研修への参加
就園・就学の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校就学援助、幼稚園就園奨励 高校入学支度金の廃止(平成23年度から廃止)
特別支援教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の推進、教育相談、特別支援教育就学奨励 特別支援担当者連絡会の充実
情報・国際教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・校内LAN・教育用コンピュータの整備、ALTの派遣 新学習指導要領によるALT派遣授業数の拡大(平成23年度完全実施)
いじめ・不登校の対策	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラー活用、心の相談員、メンタルヘルス相談
地域の教育力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども人権学習支援事業、学校支援地域本部事業 学校支援地域本部事業(平成23年度から県補助事業として実施)
安全・安心の学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども情報ネットさんごう、さんごう子ども見まもり隊、青色防犯パトロール
学校給食体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・安全安心の学校給食、食育の推進、給食センターの建替 給食センター建替事業(平成24年度再検討)
幼児教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に開かれた幼稚園、子育て支援 多目的ホール暖房機器設置
放課後児童クラブの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブの運営 三郷北小学校放課後児童クラブ教室空調機器設置
生涯学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・学習基盤の整備、各種学級の運営
青少年の健全育成	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成三郷町民会議、親子のつどい、教育講演会、成人式
人権教育・啓発の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・識字学級、人権教育地区別懇談会、人権問題学習セミナー、人権相談
文化センターの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・公開講座・文化教室、グループ活動の支援、指定管理 指定管理者の指定(平成21年度から3年間)
文化活動への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の指導者等の活用支援、各種団体への助成 町民文化祭、芸術祭の開催
図書館の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・情報資料の提供、子ども読書の推進、生涯学習事業の推進 住民生活に光をそそぐ交付金を活用した図書購入の拡大とAV機器購入
文化財の保護と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財の保護、文化財の啓発・活用、地域の歴史学習の機会の提供 勢野東遺跡の調査、分析
生涯スポーツの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの推進、軽スポーツ事業 総合型地域スポーツクラブの創設協議(平成24年度設立準備)
スポーツ施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設の整備、指定管理 多目的広場開場 指定管理(平成22年度からウォーターパークに加えスポーツセンターも指定)

平成23年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	学校施設の整備	担当課名	教育総務課	総合計画位置づけ	第1章・第2節の
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設の耐震性を確保します。 誰もが利用しやすい環境とするため、施設の整備を行います。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設は、幼児・児童・生徒が1日の大半を過ごす学習・生活の場であり、「生きる力」をはぐくむための教育環境として重要な意義を持つだけでなく、地震などの災害発生時には地域住民の応急避難場所としての役割をも果たすことから、その安全性を確保する。 第2次ベビーブーム時代に建設した学校施設の老朽化が深刻である状況に伴い、再生整備(改修)を優先順位をつけて実施する。 教育環境の充実を図るため、老朽化している児童・生徒用机・椅子を計画的に入れ替える。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>学校施設の耐震化の状況 対象：非木造2階建以上、又は延べ床面積200㎡以上</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐震化対象棟数：20棟(南畑幼稚園1、三郷小学校6、三郷北小学校5、三郷中学校8) 耐震化率：100% <p>各学校・園の施設整備状況(主な補修工事等、事業費200,000円以上)</p>																					
	<p>【三郷小学校】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>事業費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>遊具修繕</td><td>546,147</td></tr> <tr><td>図工室机天板修繕</td><td>278,250</td></tr> <tr><td>ヤギ舎フェンス・農園ネット修繕</td><td>204,750</td></tr> <tr><td>体育館前スロープ張替工事</td><td>225,750</td></tr> <tr><td>教室ドア改修工事</td><td>1,821,750</td></tr> <tr><td>その他補修・修繕工事</td><td>1,064,141</td></tr> <tr><td>合計</td><td>4,140,788</td></tr> </tbody> </table>	工事名称	事業費(円)	遊具修繕	546,147	図工室机天板修繕	278,250	ヤギ舎フェンス・農園ネット修繕	204,750	体育館前スロープ張替工事	225,750	教室ドア改修工事	1,821,750	その他補修・修繕工事	1,064,141	合計	4,140,788					
	工事名称	事業費(円)																				
	遊具修繕	546,147																				
	図工室机天板修繕	278,250																				
	ヤギ舎フェンス・農園ネット修繕	204,750																				
	体育館前スロープ張替工事	225,750																				
	教室ドア改修工事	1,821,750																				
	その他補修・修繕工事	1,064,141																				
	合計	4,140,788																				
<p>【三郷北小学校】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>事業費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>プールろ過装置修繕</td><td>449,253</td></tr> <tr><td>遊具修繕</td><td>341,145</td></tr> <tr><td>児童用トイレブース取替工事</td><td>750,000</td></tr> <tr><td>音楽室空調取替・教室扇風機設置</td><td>715,050</td></tr> <tr><td>浄化槽ブローワー修繕</td><td>299,250</td></tr> <tr><td>廊下センターライン引き工事</td><td>515,433</td></tr> <tr><td>砂場改修工事</td><td>651,000</td></tr> <tr><td>スピーカー用ポール設置工事</td><td>267,000</td></tr> <tr><td>その他補修・修繕工事</td><td>1,115,757</td></tr> <tr><td>合計</td><td>5,103,888</td></tr> </tbody> </table>	工事名称	事業費(円)	プールろ過装置修繕	449,253	遊具修繕	341,145	児童用トイレブース取替工事	750,000	音楽室空調取替・教室扇風機設置	715,050	浄化槽ブローワー修繕	299,250	廊下センターライン引き工事	515,433	砂場改修工事	651,000	スピーカー用ポール設置工事	267,000	その他補修・修繕工事	1,115,757	合計	5,103,888
工事名称	事業費(円)																					
プールろ過装置修繕	449,253																					
遊具修繕	341,145																					
児童用トイレブース取替工事	750,000																					
音楽室空調取替・教室扇風機設置	715,050																					
浄化槽ブローワー修繕	299,250																					
廊下センターライン引き工事	515,433																					
砂場改修工事	651,000																					
スピーカー用ポール設置工事	267,000																					
その他補修・修繕工事	1,115,757																					
合計	5,103,888																					
<p>【三郷中学校】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>事業費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>体育館バスケットリンク修繕</td><td>336,000</td></tr> <tr><td>体育館バスケットライン修繕</td><td>466,200</td></tr> <tr><td>グラウンド藤棚下改修工事</td><td>598,500</td></tr> <tr><td>高圧受電設備改修工事</td><td>4,368,000</td></tr> <tr><td>C・E棟トイレドア・配膳室扉取替</td><td>960,000</td></tr> <tr><td>防排煙制御設備改修工事</td><td>519,750</td></tr> <tr><td>その他補修・修繕工事</td><td>1,529,030</td></tr> <tr><td>合計</td><td>8,441,480</td></tr> </tbody> </table>	工事名称	事業費(円)	体育館バスケットリンク修繕	336,000	体育館バスケットライン修繕	466,200	グラウンド藤棚下改修工事	598,500	高圧受電設備改修工事	4,368,000	C・E棟トイレドア・配膳室扉取替	960,000	防排煙制御設備改修工事	519,750	その他補修・修繕工事	1,529,030	合計	8,441,480				
工事名称	事業費(円)																					
体育館バスケットリンク修繕	336,000																					
体育館バスケットライン修繕	466,200																					
グラウンド藤棚下改修工事	598,500																					
高圧受電設備改修工事	4,368,000																					
C・E棟トイレドア・配膳室扉取替	960,000																					
防排煙制御設備改修工事	519,750																					
その他補修・修繕工事	1,529,030																					
合計	8,441,480																					
<p>【南畑幼稚園】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>事業費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>事務室空調機入替修繕</td><td>400,050</td></tr> <tr><td>その他補修・修繕工事</td><td>351,658</td></tr> <tr><td>合計</td><td>751,708</td></tr> </tbody> </table>	工事名称	事業費(円)	事務室空調機入替修繕	400,050	その他補修・修繕工事	351,658	合計	751,708														
工事名称	事業費(円)																					
事務室空調機入替修繕	400,050																					
その他補修・修繕工事	351,658																					
合計	751,708																					
<p>各学校児童・生徒用机及び椅子入替事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>購入台数</th> <th>事業費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>三郷小学校</td><td>30台</td><td>265,230</td></tr> <tr><td>三郷北小学校</td><td>130台</td><td>1,060,920</td></tr> <tr><td>三郷中学校</td><td>230台</td><td>3,359,265</td></tr> <tr><td>合計</td><td>390台</td><td>4,685,415</td></tr> </tbody> </table>	学校名	購入台数	事業費(円)	三郷小学校	30台	265,230	三郷北小学校	130台	1,060,920	三郷中学校	230台	3,359,265	合計	390台	4,685,415							
学校名	購入台数	事業費(円)																				
三郷小学校	30台	265,230																				
三郷北小学校	130台	1,060,920																				
三郷中学校	230台	3,359,265																				
合計	390台	4,685,415																				
<p>三郷小学校は特に損傷が激しいものを補充する。 三郷北小学校は、平成19年度から平成24年度まで計画的に購入する。 三郷中学校は、平成21年度から平成23年度まで計画的に購入する。</p>																						

4 点検評価・課題(CHECK)

達成度(成果)の分析	事業の成果、目的に対する達成度などを記入。 ・学校施設の耐震化率については、100%を達成している。【成果指標】 ・各施設において、年次計画に基づく工事及び緊急かつ優先的に必要な改修・補修を実施したが、老朽化・経年劣化により、今後も改修・補修が随時必要である。 ・平成23年度においても、改修・補修に要した経費に対する財源の確保を行い、前年度に引き続き全体の工事費の拡充を図った。【成果指標】 ・三郷中学校において、平成21年度からの年次計画による老朽化した生徒用机・椅子の入替事業が平成23年度で完了した。また、三郷北小学校は平成24年度で完了する予定。【成果指標】					
	成果指標	事業名	成果指標名	単位	H22年度	H23年度
	学校施設耐震化状況(対象施設)	耐震化率	%	100	100	H22 0 H23 0
	各学校、園改修・補修工事	補修・改修件数	件	85	105	H22 16,580,926 H23 18,437,864
	児童生徒用机・椅子入替事業	入替済学年数	学年	6	8	H22 3,982,020 H23 4,685,415
						H22 H23
						H22 H23
事業の課題	【継続的な課題】 老朽化・経年劣化による改修・補修が必要な施設があり、随時対応していくこと。特に、三郷中学校については老朽化が進んでおり、保護者からも施設整備の要望が多いため、財源の確保に努めながら、随時補修・改修を進める。 老朽化している児童・生徒用机・椅子の整備を計画的に進める。 今後、三郷北小学校では児童数の増加が見込まれ、クラス数が増えることも考えられる。現在の放課後児童クラブが使用している教室も含めて、教室の配置の見直しを考える必要がある。					
	【新たな課題】 各学校施設の耐震化はすでに対応できているが、天井材・照明器具・窓ガラス等の非構造部材に対する対応を検討していく必要がある。					

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	【継続的な課題に対する改善方法及び結果】 改修・補修がこれまで以上に必要になってくることが見込まれるため、財政状況を勘案しながら、必要な整備を進める。 三郷北小学校の児童用机・椅子について、来年度においても計画的に進める。また、三郷小学校については、今後計画的に入れ替えるかを検討する。 クラス数が確定した段階で、教室の配置を見直す等早急に対応する。					
	【新たな課題に対する改善方法の検討】 公共施設の非構造部材に対して検討する際に、学校施設を含めた町全体としての協議を行い、県補助金などを活用しながら対応する。					

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	事業の方向性について、現状維持が見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止 ・今後も、財政状況を勘案しつつ緊急性・優先性を鑑み、必要な整備を進める。 ・平成24年度は、三郷小学校では体育館屋根改修工事、ボランティア室空調設置工事、三郷北小学校では総合学習室・音楽室空調設置工事、三郷中学校では剣道場床改修工事、トイレドア取替工事及び廊下窓枠・調理室改修設計、また各学校において防火扉の改修工事を実施する。

平成23年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	教職員研修の充実	担当課名	教育総務課 (南畑幼稚園)	総合計画位置づけ	第1章・第2節の
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが健やかに成長できるよう、また、きめ細やかな指導で学力の向上を図るよう、県などの関係機関との連携協力により研修を実施し、教職員の資質向上に努めます。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>小中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> 初任者の教諭に対し、1年間の研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得させる。県の研修に加え、町において、年間に2回研修を実施する。 発達障害等の特別な教育的支援を必要とする幼児・児童・生徒に対する総合的な支援体制の充実を図るため、生駒市と生駒郡が合同で研修会を実施する。 <p>幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> 生駒郡幼稚園教育研究会及び奈良県幼稚園教育研究協議会において、幼児一人ひとりへのきめ細やかな対応を学び、保育内容の充実を図るため各種研修会を行う。 幼稚園教員研修及び特別支援教育研修を随時行い、幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続を図り、幼小連携をより充実させるとともに教員の資質向上を図る。 幼児期教育と小学校教育との円滑な接続を図り、幼小連携をより充実させるための研修会を行う。 <p>県実施研修への参加【県費】</p> <ul style="list-style-type: none"> 奈良県が実施する各種教職員研修に積極的な参加を促す。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>小中学校</p> <p>【初任者研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修対象者 3人 第1回生駒郡地教委主催初任者研修 内容 フィールドワークや体験活動等とおして、斑鳩町の歴史と文化を学び教育活動に生かすとともに、互いの交流を深める。 第2回生駒郡地教委主催初任者研修 内容 指導力及び授業力の向上をめざして、グループ討議、資料づくり、プレゼンテーションなどの手法による研修を深めることにより、教員としての資質を高める。 <p>【特別支援教育研修会】</p> <p>期日 平成23年8月31日(水)</p> <p>場所 安堵町トーク安堵カルチャーセンター</p> <p>内容 発達障害のある子どもの理解と支援についての講演。</p> <p>参加人数：三郷町から29人(全体で285人)</p> <p>幼稚園</p> <p>【生駒郡幼稚園教育研究会・奈良県幼稚園教育研究協議会】</p> <p>内容 全体研修(講演)、各種部会研修(実践事例による研究協議)</p> <p>6月に公開保育を実施。</p> <p>回数 全体研修：年間3回 部会研修：年間4回</p> <p>【幼稚園教員研修】</p> <p>園内及び新任研修</p> <p>内容 外部講師による保育内容の点検及び指導</p> <p>回数 年間4回</p> <p>職員研修</p> <p>内容 毎週水曜日の保育終了後、職員研修を実施し、幼小連携や保育内容等の役割の共通理解に努めた。</p> <p>回数 年間を通じて週1回</p> <p>初任者研修</p> <p>参加人数：1人</p> <p>その他、随時公開保育を行い、初任者の指導内容の充実を図った。</p> <p>県実施研修への参加(県費)</p> <ul style="list-style-type: none"> 初任者研修への参加 参加人数：3人 教職経験に応じたステージ別研修や職務や今日的課題等に対応した研修への参加 参加人数：50人(幼稚園5人、三小16人、北小15人、三中14人) 教育課題研修指導者海外派遣プログラム：「地域の教育力の活用」への参加 参加人数：1人
---------	--

4 点検評価・課題(CHECK)

達成度(成果)の分析	<p>事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>小中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生駒郡主催地教委主催初任者研修については、授業展開や学級経営の仕方、生徒との接し方等の実践的なものであり、学校内の諸活動が活性化された。【成果指標】 アンケート結果：地域の歴史を学び、今後の授業の中で子ども達に伝えられることが多かった。企業から教師に転職して視野が広がった。この研修をこれからの教師生活に活かしていこうとおもうし、これからやってくる後輩のささえにもなりたい。自分の言動や行動が生徒の糧となるように、もう一度日々の生活を見直したい。等の初任者研修参加者の感想や意見であった。 ・特別支援教育研修会：二学期直前という開催期日の影響により参加者が減少し、反省材料となった。【成果指標】 ・ステージ別研修：幼小中全教職員数123人中、約41%の教職員50人が受講し、講座数は延べ66講座であった。【成果指標】 <p>幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生駒郡幼稚園教育研究会、奈良県幼稚園教育研究協議会では、各市町村の情報交換、実践交流の場となり、研究協議の中から取り組みの反省と評価ができた。【成果指標】 ・幼稚園教員、特別支援教育研修では、講師の講評の中から幼小連携や保育内容について、改善するポイントを見出すことができた。また、特別支援を必要とする幼児の対応について、療育との連携により、職員間で学び合い共通理解を深めることができた。 <p>教員研修における人権教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員自身の人権感覚・意識を高めるとともに、子ども達ひとり一人を大切にしている教育活動に役立てた。また、その他関係機関・団体の各種研修会にも参加した。
------------	---

成果指標	事業名	成果指標名	単位	H22年度	H23年度	決算額(円)
	初任者研修	研修回数(町実施)	回	2	2	H22 0 H23 0
特別支援教育研修会	参加人数	人	400	285	H22 0 H23 0	
生駒郡幼稚園教育研究会・奈良県幼稚園教育研究協議会	研修回数	回	7	7	H22 0 H23 0	
ステージ別研修	参加人数	人	51	50	H22 0 H23 0	
					H22 H23	

事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園については、限られたスタッフ人員で、より質の高い保育・教育内容の充実が求められる。
	<p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼小連携については、幼稚園と小学校の校種の違いによる教育内容や指導方法等、幼児が小学校生活の変化に対応できるよう教員に適切な指導が求められる。

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園については、今後も教員間の情報共有を図りつつ、自己研鑽を積み重ねることが重要である。
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼小連携については、幼稚園教育と小学校教育との滑らかな接続を図るため、教員相互の情報交換が重要である。

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止 ・今後も研修内容を精査しながら、教職員の資質向上を図る。

平成23年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	就園・就学の支援	担当課名	教育総務課	総合計画位置づけ	計画なし
基本方向	・経済的理由により、教育の機会均等が損なわれることがないよう、各種補助事業を実施し、保護者の経済的負担の軽減を図ります。				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	小中学校就学援助【国庫補助事業】 ・経済的な理由等によって、子どもたちの就学が妨げられることのないよう、学用品費や学校給食費などを援助する。 幼稚園就園奨励【国庫補助事業】 ・保護者負担の軽減及び公立・私立幼稚園間の保護者負担の格差是正を図るとともに、幼稚園教育の普及充実を図るため、町立幼稚園の保育料の減免及び私立幼稚園への就園奨励費補助金の交付を行う。 高校入学支度金は廃止した。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	小中学校就学援助【国庫補助】 【要保護児童生徒就学援助費】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>認定者(人)</th> <th>就学援助費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三郷小学校</td> <td>11</td> <td>27,888</td> </tr> <tr> <td>三郷北小学校</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>三郷中学校</td> <td>8</td> <td>119,400</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>19</td> <td>147,288</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	認定者(人)	就学援助費	三郷小学校	11	27,888	三郷北小学校	0	0	三郷中学校	8	119,400	合計	19	147,288	修学旅行費のみ	【要保護児童生徒就学援助費国庫補助金】 補助金額(円) 73,000															
	学校名	認定者(人)	就学援助費																															
	三郷小学校	11	27,888																															
	三郷北小学校	0	0																															
	三郷中学校	8	119,400																															
	合計	19	147,288																															
	【準要保護児童生徒就学援助費】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>認定者(人)</th> <th>就学援助費</th> <th>給食費(円)</th> <th>援助費合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三郷小学校</td> <td>95</td> <td>2,251,663</td> <td>3,968,120</td> <td>6,219,783</td> </tr> <tr> <td>三郷北小学校</td> <td>38</td> <td>891,139</td> <td>1,630,200</td> <td>2,521,339</td> </tr> <tr> <td>三郷中学校</td> <td>86</td> <td>4,989,760</td> <td>3,811,600</td> <td>8,801,360</td> </tr> <tr> <td>国公立中学校</td> <td>1</td> <td>106,750</td> <td>0</td> <td>106,750</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>220</td> <td>8,239,312</td> <td>9,409,920</td> <td>17,649,232</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	認定者(人)	就学援助費	給食費(円)	援助費合計	三郷小学校	95	2,251,663	3,968,120	6,219,783	三郷北小学校	38	891,139	1,630,200	2,521,339	三郷中学校	86	4,989,760	3,811,600	8,801,360	国公立中学校	1	106,750	0	106,750	合計	220	8,239,312	9,409,920	17,649,232		
	学校名	認定者(人)	就学援助費	給食費(円)	援助費合計																													
	三郷小学校	95	2,251,663	3,968,120	6,219,783																													
	三郷北小学校	38	891,139	1,630,200	2,521,339																													
三郷中学校	86	4,989,760	3,811,600	8,801,360																														
国公立中学校	1	106,750	0	106,750																														
合計	220	8,239,312	9,409,920	17,649,232																														
幼稚園就園奨励【国庫補助】 ・町内に在住し、私立幼稚園に就園する3歳児から5歳児の保護者を対象に、所得に応じて補助金を支給。	【私立幼稚園就園奨励費補助金】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>園児区分</th> <th>受給者(人)</th> <th>就園奨励費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3歳児</td> <td>53</td> <td>5,082,900</td> </tr> <tr> <td>4歳児</td> <td>82</td> <td>7,895,100</td> </tr> <tr> <td>5歳児</td> <td>45</td> <td>3,855,300</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>180</td> <td>16,833,300</td> </tr> </tbody> </table>	園児区分	受給者(人)	就園奨励費	3歳児	53	5,082,900	4歳児	82	7,895,100	5歳児	45	3,855,300	合計	180	16,833,300	【幼稚園就園奨励費補助金】 補助金額(円) 4,032,000																
園児区分	受給者(人)	就園奨励費																																
3歳児	53	5,082,900																																
4歳児	82	7,895,100																																
5歳児	45	3,855,300																																
合計	180	16,833,300																																
・町立幼稚園の保育料を負担することが困難な保護者に対して、減免措置を行った。	【町立幼稚園保育料の減免】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>園児区分</th> <th>減免者数(人)</th> <th>減免額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3歳児</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>4歳児</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>5歳児</td> <td>1</td> <td>35,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1</td> <td>35,000</td> </tr> </tbody> </table>	園児区分	減免者数(人)	減免額(円)	3歳児	0	0	4歳児	0	0	5歳児	1	35,000	合計	1	35,000																	
園児区分	減免者数(人)	減免額(円)																																
3歳児	0	0																																
4歳児	0	0																																
5歳児	1	35,000																																
合計	1	35,000																																

4 点検評価・課題(CHECK)

達成度(成果)の分析	事業の成果、目的に対する達成度などを記入。 ・就学援助は、前年度並みの小中学校合わせて239名を認定し、援助を必要とする保護者の経済的負担を軽減できた。【成果指標】 ・認定率については、前年度の12.7%から13.3%へと推移している。【成果指標】 ・幼稚園就園奨励費については、3歳児の受給者が減少したことにより、人数は前年度と比べて23人減少し、約120万の減額となった。【成果指標】					
	事業名	成果指標名	単位	H22年度	H23年度	決算額(円)
成果指標	小中学校就学援助	認定者数	人	223	239	H22 15,793,582 H23 17,649,232
	小中学校就学援助	認定率	%	12.7	13.3	H22 15,793,582 H23 17,649,232
	幼稚園就園奨励	受給者及び減免者数	人	204	181	H22 18,048,400 H23 16,833,300
						H22 H23
						H22 H23
事業の課題	【継続的な課題】					
	【新たな課題】 ・就学援助申請書では「審査に必要である場合は、教育委員会が住民基本台帳を確認することに同意する」とあることから、添付書類(所得証明書等)の簡素化について検討する必要がある。また、就園奨励申請書についても併せて検討する必要がある。					

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	【継続的な課題に対する改善方法及び結果】					
	【新たな課題に対する改善方法の検討】 ・所得証明等の関係書類の添付が不要となった場合、通知文書や手順等を変更する必要があるので各学校及び幼稚園と協議していく。					

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	事業の方向性について、現状維持が見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止 ・今後の申請方法について、学校・幼稚園とも協議しながら検討していく。

平成23年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	特別支援教育の推進	担当課名	教育総務課	総合計画位置づけ	第1章・第6節の
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育において、特別に支援を要する幼児・児童・生徒について、誰もがともに学べる「なかまづくり」の教育と体制の整備を進めます。 				

2 事業概要・目的(P.L.A.N)

事業概要・目的	<p>特別支援教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児・児童・生徒一人ひとりの教育ニーズを把握し、その持っている力を高め、生活や学習上の課題を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行う特別支援教育を推進する。 <p>教育相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学前の幼児を持つ保護者に対し、障がい等の状況に応じた適切な教育が受けられるよう教育相談を行う。 <p>特別支援教育担当者連絡会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の連携を目的に、情報交換や就学指導のあり方を検討するため、定期的に担当者連絡会を開催。 <p>特別支援教育就学奨励費【国庫補助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級在籍児童・生徒の保護者に対し、その経済的負担の軽減を図るため、世帯の収入額が一定額以下である場合、学用品費や学校給食費などの一部を援助する。
---------	--

3 事業実績・結果(D.O)

事業実績・結果	<p>特別支援教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援を必要とする幼児・児童・生徒を支援するため、町費による臨時講師等（常勤・非常勤）を各学校に配置した。 <p>【配置講師数】</p> <table> <tr><td>南畑幼稚園</td><td>3人</td></tr> <tr><td>三郷小学校</td><td>4人</td></tr> <tr><td>三郷北小学校</td><td>3人</td></tr> <tr><td>三郷中学校</td><td>2人</td></tr> <tr><td>合計</td><td>12人</td></tr> </table> <p>正規職員(三郷北小学校1人、三郷中学校2人)を除く。</p> <p>教育相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年8月に就学前の幼児を持つ保護者を対象として、斑鳩町中央公民館において生駒郡合同の教育相談会を行った。 <p>【相談人数】</p> <table> <tr><td>三郷小学校区</td><td>7人</td></tr> <tr><td>三郷北小学校区</td><td>4人</td></tr> <tr><td>合計</td><td>11人</td></tr> </table> <p>特別支援教育担当者連絡会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の充実をはかるため、情報交換と小中学校の連携を図る場として、平成21年度から小中学校の特別支援担当教員及び教育委員会事務局担当者による連絡会議を立ち上げ、平成23年度においても定期的に連絡会を開催した。(年間6回) <p>特別支援教育就学奨励費【国庫補助】</p> <p>【就学奨励費認定者数】</p> <table> <tr><td>三郷小学校</td><td>18人</td></tr> <tr><td>三郷北小学校</td><td>16人</td></tr> <tr><td>三郷中学校</td><td>10人</td></tr> <tr><td>合計</td><td>44人</td></tr> </table> <p>平成23年度決算額：1,524,156円(補助額518,000円)</p>	南畑幼稚園	3人	三郷小学校	4人	三郷北小学校	3人	三郷中学校	2人	合計	12人	三郷小学校区	7人	三郷北小学校区	4人	合計	11人	三郷小学校	18人	三郷北小学校	16人	三郷中学校	10人	合計	44人
南畑幼稚園	3人																								
三郷小学校	4人																								
三郷北小学校	3人																								
三郷中学校	2人																								
合計	12人																								
三郷小学校区	7人																								
三郷北小学校区	4人																								
合計	11人																								
三郷小学校	18人																								
三郷北小学校	16人																								
三郷中学校	10人																								
合計	44人																								

4 点検評価・課題(CHECK)

達成度(成果)の分析	事業の成果、目的に対する達成度などを記入。 ・特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒が年々増加しているため、県の配置基準に加えて、町費による講師を各学校に配置しており、平成23年度は2人増の12人を配置した。【成果指標】 ・就学前の相談では、保護者の就学に対する不安を解消するため、事務局と特別支援担当の教員が相談を行うことにより、園での生活の仕方や専門機関への斡旋等、幼児の現状に応じたアドバイスができた。平成23年度は、昨年度より相談件数が4件減少したが、保護者のニーズが高いと考えられる。【成果指標】 ・特別支援担当者連絡会議は、年間6回開催し、小中学校間の情報交換との連携を図った。【成果指標】 ・特別支援教育就学奨励費では、昨年度から受給者で5人、決算額で約17万円の増となり、特別支援学級に在籍する保護者の経済的負担を軽減することができた。【成果指標】					
	成果指標	事業名	成果指標名	単位	H22年度	H23年度
	特別支援教育の推進	配置講師数	人	10	12	H22 25,542,171 H23 30,365,162
	教育相談	相談人数	人	15	11	H22 0 H23 0
	特別支援教育担当者連絡会	開催回数	回	6	6	H22 0 H23 0
	特別支援教育就学奨励費	就学奨励費認定者数	人	39	44	H22 1,354,610 H23 1,524,156
						H22 H23
事業の課題	【継続的な課題】 特別支援教育を推進するにあたり、特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒は、年々増加する傾向にあることから、人員配置を含め、今後も支援体制を強化する必要がある。 特別支援担当者連絡会については、今後、幼稚園・保育園や保健センターなどとも連携し、子どもの誕生から成長を見まもり、適切な支援を行う必要がある。					
	【新たな課題】					

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	【継続的な課題に対する改善方法及び結果】 特別に支援が必要な幼児・児童・生徒の増加に伴い、常勤講師を増員した。 平成23年度も引き続き、担当者連絡会に公立・私立の幼稚園・保育園にも参加を呼びかけた。					
	【新たな課題に対する改善方法の検討】					

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	事業の方向性について、現状維持が見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止 ・増加する特別な支援が必要な発達障害の幼児・児童・生徒に対して、障がいの程度によっては、普通学級の中で適切な支援ができるよう講師の配置に努める。 ・乳幼児を含めて子どもたちや保護者等の実態や状況の変化に対応し、総合的なサポート体制を確立する。

平成23年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	情報・国際教育の推進	担当課名	教育総務課	総合計画位置づけ	第1章・第2節の
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・校内におけるLANの整備を進めるとともに、教育用コンピュータの充実に努めます。 ・生きた外国語の学習や異文化への理解を養うため、ALT制度の充実に図ります。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>校内LAN・教育用コンピュータの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校については平成19年度に、中学校については平成21年度に整備した教育用コンピュータ及び校内LANを活用し、積極的に情報教育を推進する。 <p>ALT派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生きた外国語の学習や異文化への理解を養うため、各小中学校へALTの派遣を行う。 ・南畑幼稚園においても、幼児期からの国際理解や英語教育を図るため、ALTとの交流会を行う。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	教育用コンピュータ等の設置状況				
		設置台数(台)			
	種 類	三郷小学校	三郷北小学校	三郷中学校	合計
	サーバ	1	1	2	4
	クライアントPC(デスクトップ)	20	15	42	77
	クライアントPC(ノート)	1	6	6	13
	プリンタ	10	10	7	27
	プロジェクタ	1	1	3	5
		三郷小学校	三郷北小学校	三郷中学校	
	整備年度	平成19年度	平成19年度	平成21年度	
設置場所	南館2階パソコンルーム	北館2階コンピュータ教室	B棟4階コンピュータ室		
LAN 整備	各教室	各教室	61室(普通教室・特別教室)		
	LAN: Local Area Networkの略語。特定の場所や同一組織内での情報通信ネットワーク。				
	ALT 派遣				
	・年間を通じて三郷中学校に1名、各小学校及び幼稚園に1名の計2名のALTの派遣を行い、英語学習・異文化理解等の活動を行った。活動時間等は下表のとおり。				
		対象	クラス数<A>	年間時間数(時間)	合計時間数(時間)<A> x
	三郷中学校	1年生	6	35	560
		2年生	5	35	
		3年生	5	35	
	三郷小学校	5年生	4	35	280
		6年生	4	35	
	三郷北小学校	5年生	3	35	210
		6年生	3	35	
	南畑幼稚園	年少	1	2	10
		年中	1	3	
		年長	1	5	
	合 計		33	255	1,060
	ALT: Assistant of Language Teacherの略語。学校で外国語授業の補助を行う外国語指導助手。				

4 点検評価・課題(CHECK)

達成度(成果)の分析	<p>事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>教育コンピュータの設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成19年度から平成21年度までの整備期間で、パソコン90台、周辺機器36台を新規設置し、町内すべての学校で情報教育の充実を図るための環境が整った。 <p>ALT派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成23年度より、新学習指導要領が完全実施され、小学校5・6年生の外国語活動が必須となったことから、小学校において各クラス年間35時間（授業コマ数）の派遣時間を確保（前年比20時間の増）。 前年度までは、全校で1名のALTの派遣であったが、平成23年度より中学校で1名、幼稚園・小学校で1名の合計2名体制へと変更した。全校の年間合計授業時間においては、平成23年度は1,060時間となり、前年比325時間の大幅増とすることができた。また、ALT派遣に係る経費は全額町費をもって対応しているが、派遣人数及び派遣時間の増加に対しての町費についても確保することができた。【成果指標】
------------	---

成果指標	事業名	成果指標名	単位	H22年度	H23年度	決算額(円)
		教育用コンピュータの整備	新PC設置済み台数 小中学校合計	台	90	90
	ALT派遣	ALTによる授業時間 幼稚園・小中学校合計	時間	735	1,060	H22 4,924,500 H23 7,460,250
						H22 H23
						H22 H23
						H22 H23

事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 発達段階における子どもにとって、英語の興味を引くような適切な授業を行えるALTの派遣を継続して行う必要がある。また、派遣されるALTによって授業の理解度などに格差が生じないよう継続的に検討を行う。 <p>-----</p> <p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成23年度より、ALTの増員に伴い小学校・中学校において、それぞれ別のALTを派遣する体制を講じたが、その事によって小学校・中学校のALTの授業の質に格差が生じる事となった。
-------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 派遣業者へ対し、派遣されるALTへの社員教育・研修の徹底を求め、健全な講師の派遣を要望する。 <p>-----</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> 上に同じ。
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	事業の方向性について、現状維持が見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<ul style="list-style-type: none"> 情報教育については整備済みの校内LAN・パソコン環境を活用し、引き続き積極的な情報教育を推進する。 今後も財政状況を勘案しながら派遣回数の検討を加える。また、児童・生徒が英語に興味を持つような指導を行えるALTの派遣を常に意識して事業を進めていく。 		

平成23年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	いじめ・不登校の対策	担当課名	教育総務課	総合計画位置づけ	第1章・第2節の
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 小中学生を対象とした専門医によるメンタルヘルス相談や、中学校への心の相談員の配置による「いじめ」や不登校児童生徒の早期発見・早期指導の実施を継続します。 教職員経験者など地域の人材の参加を得ながら、多様な教育の展開ができるよう、広域的な連携を含めた支援のあり方を検討します。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>いじめ・不登校対策として、奈良県が実施するスクールカウンセラー活用事業を活用しながら、町独自で心の相談員を配置するとともに、専門機関にメンタルヘルス相談業務を委託し、児童生徒の悩みに対して、適切かつ迅速に対応し、児童生徒が安心して学習に取り組むことができるよう相談・相談体制の充実を図る。</p> <p>スクールカウンセラー活用事業【県費】 いじめや不登校などの対策として、学校におけるカウンセリング機能を強化するため、臨床心理士などの資格を持ったスクールカウンセラーを中学校に配置する。</p> <p>心の相談員 生徒の悩み、不安、ストレスに対し、気軽にカウンセリングできる心の相談員を中学校に配置する。</p> <p>メンタルヘルス相談業務委託 小中学生とその関係者のメンタル面での相談業務を専門機関に委託し、健全な心身の保持増進に努める。</p>
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>スクールカウンセラー活用事業【県費】</p> <ul style="list-style-type: none"> 三郷中学校へ1人配置 <ul style="list-style-type: none"> 年間勤務日数 19日 相談ケース数 <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒：21回 保護者：0回 教職員：33回 合計：54回 主な相談内容 本人に関わる問題、不登校問題、人間関係に関することなど 児童生徒へのカウンセリングのほか、教職員などへの助言も行った。 その他、全校生徒を対象にストレスチェックアンケートを実施。 <p>心の相談員</p> <ul style="list-style-type: none"> 三郷中学校へ1人配置 <ul style="list-style-type: none"> 年間勤務日数 93日 相談ケース数 123回 主な相談内容 本人に関わる問題、家庭・家族、不登校問題など <p>メンタルヘルス相談</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒や保護者、教職員の相談に対応するため、ハートランドしぎさんに委託し、専門機関による相談を行った。 <ul style="list-style-type: none"> 相談ケース数 <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒：8回 保護者：13回 教職員：7回 合計：28回 <p>本年度より、心の相談員の相談ケース数は延べ回数で計上。スクールカウンセラー及びメンタルヘルス相談については、以前より延べ回数で計上している。</p>
---------	--

4 点検評価・課題(CHECK)

達成度(成果)の分析	<p>事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成23年度の不登校児童生徒数は、28人であった。 (不登校：年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの) いじめや不登校、その他生徒の抱える問題が多様化してきた中で、三郷中学校では、 <ul style="list-style-type: none"> 専門的なカウンセリングができるスクールカウンセラーの配置【成果指標】 生徒の悩みを気軽に相談できる心の相談員の配置【成果指標】 専門機関での相談を行うためのメンタルヘルス相談業務の委託【成果指標】 <p>を実施し、生徒の状況に応じた相談を行った。</p> <p>中学校では、スクールカウンセラーが全校生徒に向けたストレスチェックアンケートを実施し、臨床心理士の視点から見た生徒の状態を教員と話し合い、その結果、教員の経験則が確かめられ教員の自信を高めたり修正されて新たな視点が築かれたとともに、生徒の悩みの早期発見につながり、心の相談員の相談件数の増加につながった。</p> <p>小学校においては、児童の悩み等を教員が親身になって相談に乗り、必要に応じてメンタルヘルス相談を紹介し、専門機関での相談へと引き継ぐ体制をとっている。また、急を要した場合には、児童の心理面での不安定さを改善させるため小学校へ中学校に配置している心の相談員を派遣し早期解決につながった。</p> <p>心の相談件数が大幅増となっているのは、気軽に相談できる雰囲気が醸成され、早期段階での生徒の悩み等解消に向けた教員と心の相談員との連携があったため。具体的には、教員が気になる生徒の指導方法について、心の相談員にアドバイスを求めたり、教員の積極的な関わりがあった。</p> <p>メンタルヘルス相談件数が減少したのは、主に保護者からの相談件数が15件減少したため。</p> <p>心の相談員の決算額について、予算が増額され昨年度より57,585円の執行額の増加となる。</p>
------------	---

成果指標	事業名	成果指標名	単位	H22年度	H23年度	決算額(円)
		スクールカウンセラー	相談回数	回	55	54
	心の相談員	相談回数	回	60	123	H22 800,000 H23 857,585
	メンタルヘルス相談業務委託	相談回数	回	43	28	H22 600,000 H23 600,000
						H22 H23

事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>不登校児童・生徒などを孤立させない対策として、地域の人材を活用したフリースクールや適応指導教室等の活用について、今後も継続して検討を加えていかねばならない。 カウンセラーや相談員は中学校に配置しており、小学校でのケースに充分対応できるよう検討する。</p> <hr/> <p>【新たな課題】</p>
-------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>フリースクールや適応指導教室等の設置については、町単独では困難であり、今後必要性を含めた議論を生駒郡等の広域で行うとともに、学校支援ボランティアの活用も検討する。 ケースに応じてカウンセラーや相談員を小学校にも派遣する等、柔軟な対応を検討する。</p> <hr/> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<p><input type="checkbox"/> 現状維持 事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 見直し (内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <p>・今後も不登校問題をはじめ、児童・生徒のさまざまな課題に対応するため、相談体制の充実を図るとともに、状況に応じて、スクールソーシャルワーカー等の活用も検討する。</p>
--------------	---

平成23年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	地域の教育力の向上	担当課名	教育総務課 (生涯学習課)	総合計画位置づけ	第1章・第2節の
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 地域と学校が協力しながら、地域の文化や人材を活かした体験学習を継続します。 まち全体が学びの場となるまちづくりをめざして、子どもたちの学習に提供できる場所や資源などの掘り起こしとネットワークの体制強化を図ります。 学校の環境美化や緑化などについて、各種団体や地域ボランティアの参加が得られるように図ります。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>子ども人権学習支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 少子化や核家族化の進行、就労形態の多様化及び家庭や地域の子育て意識の低下など、子どもを取り巻く環境の変化を踏まえ、さまざまな子どもの活動を支援する事業を実施し、地域の教育力の向上を図る。 各小中学校において、地域ボランティアの指導のもと、和太鼓、茶華道、ゲートボールなどさまざまな体験学習を実施する。 <p>学校支援地域本部事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校、家庭、地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えることを目的に、学校が必要とする活動について、地域からボランティアを募り、学校の教育活動を支援する。 <p>上記2事業が今年度より、「学校・地域連携事業」として一本化された県補助事業となり、1,000,000円の補助金を、5:5で両事業へ振り分けを行った。学校支援地域本部事業においては、前年度までは100%国負担の事業であったため、今年度は町で不足分の予算計上を行い事業継続に努めた。</p>
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	子ども人権学習支援事業（活動実績）					
	活動名称	学校名	登録人数	実施回数	活動内容	担当課
	どんどん和太鼓	三郷中学校	50人	26回	和太鼓の演奏	生涯学習課
	茶華道クラブ	三郷中学校	11人	19回	茶道・華道の体験	教育総務課
	多聞クラブ	三郷小学校	8人	14回	ゲートボール体験	教育総務課
	ふれあいクラブ	三郷小学校	48人	15回	和太鼓の演奏	教育総務課・ふれあい交流センター
	親子で遊び隊	三郷小学校	49人	2回	デイキャンプ、もちつき大会	教育総務課
	にこやかクラブ	三郷北小学校	6人	13回	手話コーラス	教育総務課
	つながり学級	三郷北小学校	80人	7回	軽スポーツ、お茶、調理実習など	生涯学習課
	各活動の指導には、地域住民や各種団体の方に協力をしていただいた。					
<p>学校支援地域本部事業</p> <ul style="list-style-type: none"> この事業は、平成20年度から3年間の文部科学省委託事業であり、4年目となった平成23年度も、前年度までの活動実績を基本としながら下表のとおり、多様で充実した活動を行うことができた。 						
<主な活動実績>						
学校名	活動内容					
三郷小学校	登下校の安全確保、ヤギの診察、畑づくり、囲碁、プールの安全監視、パソコン指導補助、そろばん学習、家庭科実習、平和学習、運動場の整備、運動会テント設営、卓球、一輪車、音楽会、本の読み聞かせ、昔遊び学習など					
三郷北小学校	わくわく農園、キラキラ池の整備（除草、整地、畑、めだかの飼育）、階段の補修、運動会テント設営、茶道体験、遊具塗装、外国語支援、家庭科実習、パソコン指導補助、本の読み聞かせ、琴・尺八の鑑賞・体験、花壇整備、卒業製作、昔遊び体験など					
三郷中学校	図書紹介・貸し出し、家庭科実習、校舎内生け花の設置、小菊栽培、職業体験、サッカークラブ支援、バレーボールクラブ支援など					
<ボランティア登録人数>						
・個人登録：112人 団体登録：107人 合計：219人(前年度比+8人)						
<その他>						
内容	開催場所	開催日	備考	参加人数		
第1回天体観測会	三郷北小学校	6月9日	ボランティアへの謝意	約30人		
第2回天体観測会	三郷北小学校	12月1日	ボランティアへの謝意	約12人		
ボランティア給食会	三郷小学校	6月28日	ボランティアへの謝意	19人		
	三郷北小学校	6月8日	ボランティアへの謝意	30人		
ボランティア成果報告会	図書館視聴覚室	3月4日	活動報告、ボランティアへの謝意	約70人		
成果報告会の際に前年度同様にボランティアへアンケートを実施。今後の活動の参考のため。						

4 点検評価・課題(CHECK)

達成度(成果)の分析	<p>事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>子ども人権学習支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な体験を通して、学年間の交流や目標に向かって努力する姿勢を学ぶ機会となった。のべ参加者人数は前年度比641人増となり、大幅に増やすことができた。【成果指標】 各講座、文化祭や人権フェスタに出演。(出演回数：のべ7回) <p>学校支援地域本部事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業開始から4年目を向かえ、登録者数は前年度比8人増となった。また、前年度までは100%国負担の事業が、今年度より県の補助事業(補助額500,000円)となった。そのため、ここまで拡大した事業の縮小を防ぐため、町で予算計上を行うことで事業継続を可能とした。【成果指標】 (町費負担：H22年度 0円、H23年度1,332,316円) ボランティアへのアンケートの結果、もっと人数が増えてほしいとの声が多く、今後の募集体制(周知方法など)を考える必要がある。 日頃のボランティア活動に対して、ボランティアへの謝意を表すために、ボランティアを対象とした天体観測会や給食会を実施。参加者数は合計約91人となった。
------------	--

成果指標	事業名	成果指標名	単位	H22年度	H23年度	決算額(円)		
	子ども人権学習支援事業	参加人数(のべ)	人	2,436	3,077	H22	1,625,375	H23
学校支援地域本部事業1	ボランティア登録人数	人	211	219	H22	1,834,558	H23	1,832,316
学校支援地域本部事業2	ボランティア参加人数 (各学校計・のべ人数)	人	2,132	1,859	H22	/		
	上記 参加人数については、日常的なボランティア活動(見まもり・緑化推進など)を含まない。				H22			H23

事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>子ども人権学習支援事業の参加人数が少ない活動がある。 学校支援ボランティアの登録人数を増やす事。 ボランティアの種類によっては、本人が意欲的であっても活動が少ない場合がある。</p> <hr/> <p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども人権学習において、一部項目で参加者数が大幅に増え、前年度まで使用していた練習会場の許容人数を越えてしまった。
-------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 当初より使用している学校支援ボランティアのチラシの改訂を行う。特に項目の見直しは必須。 <hr/> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加できる学年の参加要件を検討し、実施会場の許容人数を越えないよう工夫して募集を行う。
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	事業の方向性について、現状維持が見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども人権学習支援事業は、募集方法や内容を一部見直した上で継続する。 学校支援地域本部事業については、ボランティア人数を増やす事を、ボランティア項目の再精査と共に最優先事項とし、さらに充実させていく。 平成23年度より、国委託事業から補助事業に移行となり、翌年度は補助額も減額となることを見込まれる為、事業を後退させないよう、町事業として引き続き予算計上をしていく。

平成23年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	安全・安心の学校づくり	担当課名	教育総務課	総合計画位置づけ	第1章・第2節の
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 学校と地域の連携を深め、「子ども見まもり隊」をはじめとした地域ぐるみの見まもり活動の展開を支援し、情報交換の場の設置を図ります。 子どもの安全を守るため、パトロールや巡視などの対策を継続するとともに、不審者情報メールの配信を充実し、万が一の際にも迅速に対応できる体制の整備を図ります。 園児・児童に対する防犯・交通安全教室を開催し、自ら身を守ることができる教育を進めます。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>子ども情報ネットさんごう</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの安全確保を目指し、不審者情報等を登録者の携帯電話等にメール配信する。 さんごう子ども見まもり隊 学校と地域の連携により、自治会を中心とした住民ボランティアの皆様にご協力いただき登下校時の通学路の巡視を行う。 上記にあわせてシルバー人材センターに委託し、小学校の下校時に安全巡視員を通学路に配置し、児童の安全確保を図る。 青色防犯パトロール 小中学校の下校時にあわせて、町内を巡回する青色防犯パトロールを実施する。 防犯・交通安全教室 小学校及び幼稚園において、警察の協力により、防犯・交通安全教室を開催する。 子ども110番の家（町長部局生活環境課所管事業：参考掲載「 」印で示しています。） 子どもが犯罪などの被害に遭った、または遭いそうになったと助けを求めたとき、子どもを保護し、関係機関へ連絡するなどして、子どもの安全を守る。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>子ども情報ネット配信状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>不審者内容</th> <th>件数</th> <th>町内件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>声掛け</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>つきまとい</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>露出</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>痴漢</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>盗撮</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>傷害・犯罪</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>不審電話</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>13</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>【配信内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 三郷町及び近隣町で発生した子どもに関わる事件や不審者情報を、登録者へメール配信する。 <p>【メール登録人数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童や生徒の保護者、各種団体、関係団体などあわせて809人。（平成24年3月現在） 	不審者内容	件数	町内件数	声掛け	3	1	つきまとい	3	2	露出	4	0	痴漢	2	1	盗撮	0	0	傷害・犯罪	0	0	不審電話	1	1	合計	13	5
	不審者内容	件数	町内件数																									
声掛け	3	1																										
つきまとい	3	2																										
露出	4	0																										
痴漢	2	1																										
盗撮	0	0																										
傷害・犯罪	0	0																										
不審電話	1	1																										
合計	13	5																										
<p>さんごう子ども見まもり隊</p> <p>【見まもり隊登録団体及び登録者数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>登録団体の種類</th> <th>団体数</th> <th>登録者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自治会</td> <td>12</td> <td>126</td> </tr> <tr> <td>学校関係</td> <td>7</td> <td>115</td> </tr> <tr> <td>各種団体</td> <td>16</td> <td>198</td> </tr> <tr> <td>町議会</td> <td>1</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>町関係</td> <td>1</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>38</td> <td>468</td> </tr> </tbody> </table> <p>【子ども安全対策連絡会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域との連携及び情報交換を図る場として子どもの安全対策連絡会議を各学期ごとに年3回実施。 <p>下校時巡視委託</p> <ul style="list-style-type: none"> 通学路の危険箇所安全巡視員（シルバー人材センター）を配置し、各学校の登下校時及び放課後児童クラブの下校時における交通指導及び巡視を行った。 三郷小学校：4人（うち放課後児童クラブ1人） 三郷北小学校：3人（うち放課後児童クラブ1人） <p>青色防犯パトロール</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの安全を守るため、小中学校の下校時にあわせて、役場全課の交代制により、町内を巡回する青色防犯パトロールを実施した。 三郷小学校校区：年間46回 三郷北小学校校区：年間45回 <p>防犯教室など</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学校・幼稚園にて防犯教室を開催した。 警察の協力により、新小学校1年生に防犯ブザーを配布した。 <p>子ども110番の家</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録世帯数：652世帯（自治会、学校関係、各種団体など） 	登録団体の種類	団体数	登録者数(人)	自治会	12	126	学校関係	7	115	各種団体	16	198	町議会	1	10	町関係	1	9	その他	1	10	合計	38	468				
登録団体の種類	団体数	登録者数(人)																										
自治会	12	126																										
学校関係	7	115																										
各種団体	16	198																										
町議会	1	10																										
町関係	1	9																										
その他	1	10																										
合計	38	468																										

4 点検評価・課題(CHECK)

達成度(成果)の分析	<p>事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの安全対策に町全体の取り組みとして実施した結果、平成23年度においては、子どもの生命や身体に危害を及ぼす重大な犯罪被害の発生はなかった。 ・寄せられる不審者情報については13件となり、前年度に比べ7件の減少とはなったが、今後も地域と連携した子どもの見まもりを続ける必要がある。 ・子ども情報ネットの登録人数については809人となっている。【成果指標】 ・前年度に引き続き、子ども見まもり隊への登録、児童の安全巡視回数、青パトの巡回回数については、全て増加した。【成果指標】 ・防犯教室は、児童や園児による参加型の研修を毎年実施しており、自分の身を守ることに對する良い意識づけの機会となっている。
------------	--

成果指標	事業名	成果指標名	単位	H22	H23	決算額(円)
		子ども情報ネット配信	メール登録者数	人	876	809
	子ども見まもり隊	見まもり隊登録人数(累積人数)	人	457	468	H22 0 H23 0
	巡視委託	巡視回数(両小学校年間合計・延べ回数)	回	2,414	2,470	H22 2,008,152 H23 2,054,929
	青パト	パトロール回数	回	89	91	H22 0 H23 0
						H22 H23

事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>子ども見まもり隊において、協力団体(地域)による温度差がある。 放課後児童クラブの下校時の見まもり隊の参加が少ない。</p> <hr/> <p>【新たな課題】</p> <p>子ども見守り隊は、発足から6年を向かえた事もあり、年度単位で見た時の登録者数の増加率が縮小している。 東日本大震災を受け、安心される学校づくりとして、各学校の防災面を見直す必要がある。</p>
-------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>継続して子ども見守り隊の登録者数の増加を目指し、それにより地域格差を埋めていく。 放課後児童クラブの下校時間の周知と、見まもり活動の必要性について関係会議等において周知する。</p> <hr/> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>募集方法の見直しを行う。 東日本大震災後における各校の防災マニュアルを抜本的に改正する。</p>
------------	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も町全体の取り組みとして、地域との連携を図り、事業の拡大を目指す。 ・子ども情報ネットや、子ども見守り隊への協力依頼・周知方法を再検討し、登録人数を増やすよう努める。 ・各校の防災マニュアルを平成24年度中に改正する。 		

平成23年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	学校給食体制の整備	担当課名	給食センター (教育総務課)	総合計画位置づけ	第1章・第2節の
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化が進んでいる学校給食センターについて、建て替え事業を進めます。 ・「学校給食衛生管理基準」に則り、学校給食における衛生管理の徹底を図ります。 ・「食育」の一環として、学校・幼稚園における給食指導を継続します。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>安全安心の学校給食</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場の衛生管理そして職員の健康管理等を行うとともに、安全安心な給食材料を使用する観点から、より多くの地場産の野菜等を使用して安全安心の学校給食を提供する。 ・職員の資質向上を図るため、県の調理員研修に参加する。 <p>食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身につけ、食事を通して自らの健康管理ができるようにするために、食の指導の充実を図る。 <p>給食センターの建替</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開所以来、30年余りが経過し、施設、設備等の老朽化が著しいため、給食センターの建替事業を実施する。 <p>放射能測定器の購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児、児童、生徒へ安全な食材を使用した給食を提供するため購入する。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>安全安心の学校給食</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内公立幼稚園・小中学校において、センター方式による学校給食を実施している。また、幼稚園・小学校で保護者を対象に給食試食会を実施し、145人が参加した。(北小学校中止) ・児童生徒に安全・安心な学校給食を提供するため、できる限り、国内産食材を使用し、また、地産地消の観点からも、県学校給食会推奨食品や信貴山のどか村の旬の野菜を積極的に使用した。 ・国の学校給食地場農畜産物利用促進事業を実施して、奈良県産品の使用に努めた。 ・県が実施している調理員研修にも積極的に参加して、職員の資質の向上に努めた。 <p>学校給食衛生管理指導者実技講習会(7月21日) 参加人数: 2人 学校給食調理員研修会(8月10日) 参加人数: 8人 衛生講習会(8月25日) 参加人数: 9人 衛生管理・食育推進管理職研修会(9月8日) 参加人数: 1人</p> <p>食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育については、各学校で食に関する指導の全体計画を作成し、実践している。具体的には、生活科・家庭科・総合的な学習の時間における食に関する指導や給食に関わる指導を実施した。 <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科等授業時間数: 9時間 ・給食指導時間数: 8時間 ・個別指導その他: 10時間 <p>給食費の滞納状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食費の滞納者に対しては文書等での督促、家庭訪問での徴収や督促に応じない滞納者に対しては、奈良簡易裁判所への支払督促の申立を実行する旨を通知し、滞納の解消に努めた。 ・昨年度より滞納繰越額が増加したが、その原因は保護者の経済的理由のみならず、明確な徴収計画による給食費徴収の手立てが不足していた。 <p>【平成23年度末現在滞納状況】</p> <table> <tr> <td>滞納繰越額(平成15年度～平成22年度)</td> <td>626,000円(22人)</td> </tr> <tr> <td>徴収額</td> <td>414,200円(12人)</td> </tr> <tr> <td>平成23年度末滞納繰越額</td> <td>211,800円(10人)</td> </tr> <tr> <td>平成23年度分滞納額(現年度分)</td> <td>672,900円(21人)</td> </tr> <tr> <td>平成23年度滞納繰越額(合計)</td> <td>884,700円(31人)</td> </tr> </table> <p>給食センター建替事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建替事業は一時休止となっていたが、建設場所も含め再検討することとなった。 <p>放射能測定器の購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児、児童、生徒へ安全な食材を使用した給食を一刻も早く提供するため、放射能検査測定器を購入した。 	滞納繰越額(平成15年度～平成22年度)	626,000円(22人)	徴収額	414,200円(12人)	平成23年度末滞納繰越額	211,800円(10人)	平成23年度分滞納額(現年度分)	672,900円(21人)	平成23年度滞納繰越額(合計)	884,700円(31人)
滞納繰越額(平成15年度～平成22年度)	626,000円(22人)										
徴収額	414,200円(12人)										
平成23年度末滞納繰越額	211,800円(10人)										
平成23年度分滞納額(現年度分)	672,900円(21人)										
平成23年度滞納繰越額(合計)	884,700円(31人)										

4 点検評価・課題(CHECK)

達成度(成果)の分析	<p>事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消の推進を図りつつ、安全安心な学校給食を実施できた。 ・夏休み等を利用し、調理員の研修を重点的に行い、資質向上を図ることができた。 ・給食試食会や食育指導事業を通じて、給食に対する理解が深められた。【成果指標】 ・給食費の滞納整理については、平成22年度末の滞納額626,000円から平成23年度末は884,700円となり、平成22年度末に比べて、258,700円増額となった。 *過去の滞納額の増加と、現年度分の繰越額が毎年増加しているため、対策の強化が必要である。 【成果指標】 ・給食センター建替事業については、平成21年度、地元の理解が得られず建設事業を進めることはできなかった。平成22年度については一時休止状態であったが、平成23年度より建設場所も含め再検討中である。【成果指標】
------------	--

成果指標	事業名	成果指標名	単位	H22年度	H23年度	決算額(円)
	給食試食会	参加人数	人	197	145	H22 H23
食育指導	延べクラス数	クラス	61	14	H22 H23	
給食費の滞納整理	滞納者数(年度末)	人	22	31	H22 626,000 H23 884,700	
給食センター建替事業	再検討		0	0	H22 0 H23 0	
食品放射能測定器購入	購入	有無	無	有	H22 0 H23 4,725,000	

事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>給食費の徴収については、現年度分の繰越が毎年発生しており、対策を考える必要がある。過年度分についても、減少できるような対策を講じる必要がある。</p>
	<p>【新たな課題】</p> <p>給食センター建替事業について、早急に場所等の検討を行い、新給食センターの建設を検討する。</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>現年度分の繰越については継続的な課題であり、学校から保護者に働きかけるとともに、子ども手当(現児童手当)が支給されていることから、給食費を子ども手当(現児童手当)から引き落とすように働きかけ、過年度分の滞納で再三の督促に応じない滞納者に対しては、奈良簡易裁判所への支払督促の申立を肅々とすすめ、給食費の滞納を解消する。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>新たに建設される新給食センターについては、町の重要施策として町長部局との連携を図りながら、町全体の取り組みとして早急に場所、規模等の内容を決定する。</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可) (内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も地産地消を推進し、安全安心の学校給食を実施する。 ・給食費の滞納整理については、学校と連携・協力しながら、現年度分の未納解消に努め、再三の督促に応じない滞納者には、法的措置を講じることで滞納の解消を図る。 ・新給食センターについて、早急に具体案を策定する。 		

平成23年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	幼児教育の充実	担当課名	南畑幼稚園 (教育総務課)	総合計画位置づけ	計画なし
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・新幼稚園教育要領に基づく、適切な教育課程の編成を行います。 ・幼児の心身の発達と義務教育及びその後の教育の基礎を担う幼児教育の充実に努めます。 ・地域に信頼される開かれた幼児教育を推進します。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児が、自然な生活の流れの中で直接的・具体的な体験を通して社会・文化・自然などに触れ、豊かな感性を育み、生きる力の基礎を培う環境の構成に努める。 ・幼児一人一人の特性に応じ、発達の課題を見極め、個々の成長を援助し、幼児期に育てるべきことを幼児期にふさわしい生活を通して育てることで円滑に小学校へ移行できるようにする。 ・保護者や地域の方々に信頼される幼稚園を目指して、幼稚園の機能を活かして預かり保育や園庭開放・教育相談を行い子育て支援に努める。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>バザー及び模擬店(やまびこ祭)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTA事業として、協力体制、実施方法、改善方法をPTA役員と協議しながら7月第1土曜日に実施した。 <p>奈良県教育週間(11月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良県幼稚園教育研究会による子ども作品展の実施、出展。 ・地域の教育力の向上と地域に開かれた幼稚園づくりを目的に、地域の方と保護者が保育参加する幼稚園ウィークを実施 <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3歳児：親子で地元の良さをよりよく知るため、信貴山寺周辺の散策 4歳児：親子で玉ねぎの苗植え、木工看板作り 5歳児：ゲストティーチャー(地域の方々)による竹とワラのポックリ作り <p>特別支援教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする園児への対応として、個別指導計画の作成と保護者や関係機関との連携を図りながら、教員の指導力向上に努めた。 <p>食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月一回、手作り弁当日を設定し、保護者に食育の大切さを考えていただく機会としている。 ・5月、給食参観と重ねてPTA人形劇「ともとも」による食育に関する人形劇を親子で鑑賞した。 ・学校給食センター栄養教諭による、保護者参加の食育に関する講演会を実施した。 ・5歳児が中心となり、地域の方々の指導を受けながら園内菜園を行う。また、8月の園庭開放では園内菜園で収穫された野菜を使ってカレーライス作りを行い親子で食す機会とした。 <p>子育て支援及び預かり保育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育終了後に園庭を解放して、園児の成長を共有することから、保育内容の理解や家庭教育の啓発、子育て相談を行う「にこにこランド」を年間7回実施した。 ・特別な事情(家庭の通院や介護等、兄弟の授業参観等)で緊急又は臨時的に降園時刻以降の保育が必要な場合に、個々の事情に応じて預かり保育を行った。
---------	--

4 点検評価・課題(CHECK)

達成度(成果)の分析	事業の成果、目的に対する達成度などを記入。 ・PTA事業のバザー及び模擬店は、保護者の意識の変化により開催の仕方を検討する必要があるが、幼児にとっての教育的意義はもとより、PTA役員の開催後の達成感にもつながっている。 ・預かり保育については、緊急の場合、または、一定の条件を満たす場合に行っている。拡張を求める声もあるが、現状維持で対応している。【成果指標】 ・園庭開放「にこにこランド」では、親子の触れ合いを意識した活動を多く取り入れることで、共に楽しむ時間となり、保護者への幼児教育啓発にも有意義であった。その反面、幼児の育ちについて教員と保護者が話す機会が少なくなったという意見もあった。【成果指標】					
	事業名	成果指標名	単位	H22年度	H23年度	決算額(円)
成果指標	預かり保育	実施回数	回	28	28	H22 H23
	園庭開放「にこにこランド」	実施回数	回	10	7	H22 H23
						H22 H23
						H22 H23
						H22 H23
						H22 H23
事業の課題	【継続的な課題】 地域の実態や保護者の実情を考慮しながら、保育時間や日数、預かり保育について配慮する事。様々な行事を円滑に進めるためにバスの添乗等の人員確保。					
	【新たな課題】 園庭開放「にこにこランド」では、保護者との対話を自然な形でもつための工夫が必要。来年度の入園申し込み数が募集人数を下回る状況となった。幼稚園・小学校連携の円滑な接続について充実を図るため、研修を重ねる必要がある。					

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	【継続的な課題に対する改善方法及び結果】 保育時間拡張や預かり保育の弾力的な運用については、現状のスタッフ体制では不可能であるため、人員配置を含めて今後の検討課題である。 園長、主任もバスのローテーションに加わっているが、円滑に進まないこともある。非常勤職員の業務内容にバス添乗を加える。					
	【新たな課題に対する改善方法の検討】 幼児には園庭を開放し、保護者へクラスごとに集まり、話す場所を提供する事で、教員と子育てについて、会話する機会を増やす。 園児募集の周知方法及び入園申請の受付期間、申請人数が募集人数を超えた際の抽選日、町内私立幼稚園との調整を図っていく。 幼稚園と小学校の円滑な接続を目指し、幼児と児童の交流はもとより教師間の意見交換や合同研修の機会がもてるよう連携に努める。					

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	事業の方向性について、現状維持が見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
・今後も地域や保護者から信頼される幼稚園をめざし、現状に満足せず、教育内容を工夫しながら園の充実を図る。		

平成23年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	放課後児童クラブの充実	担当課名	教育総務課	総合計画位置づけ	第1章・第1節の
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 放課後や夏・冬休み時に子どもが集まって、学習や遊びを通して自主性や社会性・想像力を養えるよう放課後児童クラブを推進します。 放課後児童クラブにおいて、障がいのあるなしに関わらず、ともに参加できるよう関係者の理解やボランティア活動の促進に努めます。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>放課後児童クラブの運営【県補助事業】 補助額5,098,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者が労働等により昼間家庭において保育できない児童に対し、適切な遊び及び生活の場を与え、その健全な育成を図ることを目的に、小学校の空き教室を利用して、町が運営主体となり、放課後児童クラブを設置する。 <p>対象：町内小学校に就学している概ね10歳未満（1年生～4年生）の児童 名称：三郷小学校放課後児童クラブ（定員35名） 三郷北小学校放課後児童クラブ（定員70名） 開所時間：学校授業日 午後2時～午後6時 学校休業日 午前9時～午後6時 休所日：土、日曜日及び祝日（年末年始） 7月・8月を除く、第2土曜日は事前申込制により開所。 育成料：毎月5,000円（ただし、要件を満たせば、申請により育成料の減免措置あり。）</p>
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>入所人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>放課後児童クラブ名</th> <th>入所人数(人)</th> <th>うち特別支援(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三郷小学校放課後児童クラブ</td> <td>32</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>三郷北小学校放課後児童クラブ</td> <td>68</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>入所人数は年間平均</p>	放課後児童クラブ名	入所人数(人)	うち特別支援(人)	三郷小学校放課後児童クラブ	32	1	三郷北小学校放課後児童クラブ	68	7
	放課後児童クラブ名	入所人数(人)	うち特別支援(人)							
三郷小学校放課後児童クラブ	32	1								
三郷北小学校放課後児童クラブ	68	7								
<p>製作</p> <ul style="list-style-type: none"> モノを作る楽しさ、自分で工夫し創造する楽しさを体感させるため、下記の製作を行った。また作品については、保護者等へのプレゼントにすることにより、日ごろの感謝の気持ちを表し、家族の絆を再確認できる機会となった。 春の製作：オカリナ クリスマス製作：寄せ植え 正月製作：祝い箸 <p>伝承遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本に古くから伝わる遊びを通じて、日本の文化を再認識し、また友だちと集団で遊ぶ楽しさを実感させるため、冬期に下記の伝承遊びを実施した。また、目標をクリアしていく達成感や児童のやる気を喚起させるため、検定票を作成し、成績上位者にはメダルの授与を行った。 こま、なわとび、けん玉 <p>指導員研修</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導員の資質の向上を図るため、県の児童福祉施設等職員研修（前期3回、後期2回）に参加した。 内容 講演：発達障害のある子どもたちへの支援 遊びの広場への参加（遊びに関する知識を深め、子どもたちに遊びの奥深さを知ってもらう。） <p>育成料の減免</p> <ul style="list-style-type: none"> 低所得世帯の方を対象に、毎月の育成料の減免を行った。 減免者数：20人 <p>特別な支援を要する児童の受け入れ及びボランティアの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 放課後児童クラブでは、特別な支援を要する児童についても受け入れている。 夏休み中、広報で募集した大学生のボランティア指導員（6人） <p>保育施設の設備の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏季の熱中症対策に、三郷北小学校放課後児童クラブの第1・第2教室それぞれに床置き型・天吊り型の空調設備を配備した。 										

4 点検評価・課題(CHECK)

達成度(成果)の分析	<p>事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> 入所者については、両放課後児童クラブともに年度当初は定員一杯となり、待機者も発生したが、23年度より入所要件を見直したことにより、待機者はほぼゼロとなった【成果指標】 三郷小学校：年度当初0人 年度末0人 三郷北小学校：年度当初6人 年度末0人 日々の通常保育だけでなく、製作や伝承遊びなどを盛り込み、保育内容の充実を図った。前年度は学校支援ボランティアによる囲碁教室が開催されていたが、希望児童が少なくなり、ボランティアの意向で廃止された。 入所者数の増加に伴い、点数制による入所要件を導入し、保育を本当に必要としている児童から順に入所していただくことができた。
------------	---

成果指標	事業名	成果指標名	単位	H22年度	H23年度	決算額(円)
	放課後児童クラブ運営	入所人数 決算額は運営費	人	104	100	H22 15,283,213 H23 17,188,736
育成料の減免	減免者数	人	23	20	H22 H23	
					H22 H23	
					H22 H23	

事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>三郷北小学校放課後児童クラブで使用している教室は、今後クラス数の増加により、空き教室を学校に返却しなければならない状況も考えられるため、単独施設の設置も含め、運営場所を検討する必要がある。長期休業中の開所時間の拡大の要望が大きいこと。放課後児童クラブの下校時の安全確保が十分であるかどうかの検討を加える必要がある。</p>
	<p>【新たな課題】</p> <p>非常勤指導員のシフト勤務の入り方にムラがあり、部分的に人員不足が発生した。</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>平成23年度においては、クラス数の増加はなかったが、今後三郷北小学校放課後児童クラブについては、引き続き入学者数を調査しながら、対応を検討する。保護者からの要望に応えられるよう、1日保育時の開所時間を1時間早めるよう検討する。放課後児童クラブの下校時の通路を調査し、危険箇所マップを作成して児童に配布する。また、下校時の見まもり人員の増員に関しても検討する。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>常勤指導員からも人員が足りない日は非常勤指導員に入ってもらおうよう交渉してもらっているが、今後このようなことが続く場合は、教育委員会からも働きかけを行っていく必要がある。それでも解消されない場合は、雇用形態の変更も検討していく。</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	事業の方向性について、現状維持が見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<ul style="list-style-type: none"> 放課後児童クラブのニーズは高まってきており、特に児童の安全性を重要視する必要があることから、まずは安全面から整備を行っていく。 開所時間を検討した結果、平成24年4月1日から一日保育の開所時間を午前9時から午前8時とするよう決定した。 		

平成23年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	生涯学習の推進	担当課名	生涯学習課	総合計画位置づけ	第1章・第3節の
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 時代に即応した町独自の学習の企画・開発に努め、より多様で充実した学習機会の提供を進めます。 知識・経験をもった人材が生涯学習に活躍できるよう、各種講座へのボランティア派遣制の構築を図ります。 各種団体、学校、企業などの協力を得ながら、住民ニーズに合った学習講座の開催と様々な情報提供システムの構築を図ります。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>学習基盤の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域住民が主体的な活動により、心身ともに健康で豊かな人生をおくることができるよう、多様な分野における学習活動の場を提供する。 <p>地域住民等の人材の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業実施に伴い活動を担う指導者やボランティアの育成を図り、地域住民等の人材を活用するとともに、その団体やグループに支援を行う。 <p>各種学級事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 主体的な学習を支援するため、学習に必要な講師等を招き住民ニーズに応じた各種学級を開講する。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>学習基盤の整備</p> <p>社会情勢や住民ニーズの情報を取り入れ、時代に沿った学習内容とする。</p> <p>各種学級の運営状況</p>																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学 級 名</th> <th>目 的</th> <th>事 業 内 容</th> <th>学級生数</th> <th>開催回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家庭教育学級</td> <td>地域社会の中で、子どもの家庭教育の重要性や役割を認識し、子育て等に関する学習の機会を通して家庭の活性化を図るとともに、学級生のネットワーク機能を充実させる。</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 調理学習 健康学習 教養講座 施設見学ほか </td> <td>30人</td> <td>11回</td> </tr> <tr> <td>長寿学級</td> <td>熟年者として時代の流れに対応できる生き方・暮らし方を求めて、自主的・意欲的な学習活動を通じて生き甲斐を感得する。</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 軽スポーツ 健康学習 教養講演会 施設見学ほか </td> <td>140人</td> <td>11回</td> </tr> <tr> <td>くれない学級</td> <td>教養を高め自主的・意欲的な学習活動を行い女性としての生き甲斐を高める。</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 教養講座 歩く会 健康学習 社会見学ほか </td> <td>52人</td> <td>10回</td> </tr> <tr> <td>歴史教室</td> <td>身近な歴史とふれあい、個々の知識を深め心豊かにする。</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 講義 現地学習ほか </td> <td>102人</td> <td>13回</td> </tr> <tr> <td>みさと万葉学習会</td> <td>万葉集の学習を通じ個々の知識を深めるとともに、町の歴史と文化についても関心をもち心豊かにする。</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 講義 現地学習ほか </td> <td>60人</td> <td>15回</td> </tr> </tbody> </table>	学 級 名	目 的	事 業 内 容	学級生数	開催回数	家庭教育学級	地域社会の中で、子どもの家庭教育の重要性や役割を認識し、子育て等に関する学習の機会を通して家庭の活性化を図るとともに、学級生のネットワーク機能を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> 調理学習 健康学習 教養講座 施設見学ほか 	30人	11回	長寿学級	熟年者として時代の流れに対応できる生き方・暮らし方を求めて、自主的・意欲的な学習活動を通じて生き甲斐を感得する。	<ul style="list-style-type: none"> 軽スポーツ 健康学習 教養講演会 施設見学ほか 	140人	11回	くれない学級	教養を高め自主的・意欲的な学習活動を行い女性としての生き甲斐を高める。	<ul style="list-style-type: none"> 教養講座 歩く会 健康学習 社会見学ほか 	52人	10回	歴史教室	身近な歴史とふれあい、個々の知識を深め心豊かにする。	<ul style="list-style-type: none"> 講義 現地学習ほか 	102人	13回	みさと万葉学習会	万葉集の学習を通じ個々の知識を深めるとともに、町の歴史と文化についても関心をもち心豊かにする。	<ul style="list-style-type: none"> 講義 現地学習ほか 	60人	15回
	学 級 名	目 的	事 業 内 容	学級生数	開催回数																										
	家庭教育学級	地域社会の中で、子どもの家庭教育の重要性や役割を認識し、子育て等に関する学習の機会を通して家庭の活性化を図るとともに、学級生のネットワーク機能を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> 調理学習 健康学習 教養講座 施設見学ほか 	30人	11回																										
	長寿学級	熟年者として時代の流れに対応できる生き方・暮らし方を求めて、自主的・意欲的な学習活動を通じて生き甲斐を感得する。	<ul style="list-style-type: none"> 軽スポーツ 健康学習 教養講演会 施設見学ほか 	140人	11回																										
	くれない学級	教養を高め自主的・意欲的な学習活動を行い女性としての生き甲斐を高める。	<ul style="list-style-type: none"> 教養講座 歩く会 健康学習 社会見学ほか 	52人	10回																										
	歴史教室	身近な歴史とふれあい、個々の知識を深め心豊かにする。	<ul style="list-style-type: none"> 講義 現地学習ほか 	102人	13回																										
みさと万葉学習会	万葉集の学習を通じ個々の知識を深めるとともに、町の歴史と文化についても関心をもち心豊かにする。	<ul style="list-style-type: none"> 講義 現地学習ほか 	60人	15回																											
<p>5学級合同学習会として、7月に「人権学習会」、11月に「教育講演会」、2月に「健康福祉学習会」を開催した。</p>																															
<ul style="list-style-type: none"> 婦人学級の休講について 婦人学級の入級資格は、三郷町婦人会会員であることが条件であるが、この婦人会の会員数が、ここ数年で激減しており、それに伴う運営も大変厳しい状況にある。この状況では、婦人学級の学級生を確保するのも難しいため平成23年度は休講とした。 																															

4 点検評価・課題(CHECK)

達成度(成果)の分析	事業の成果、目的に対する達成度などを記入。 各種学習の運営 ・生涯学習学級として、「家庭教育学級」、「長寿学級」、「くれない学級」、「歴史教室」、「みさと万葉学習会」の5学級を開催した。【成果指標】 ・各学級の運営は各運営委員会により事業内容等を検討するなど、学級の自主的な運営が実施できた。 ・学習内容について、受講者にアンケートを実施し、学級運営が良かったという意見が多く得られた。 地域住民等の人材の活用 ・学級の開催における講師等には、地域の機関・団体や個人を招き人材を活用し、地域の活性化が図られるとともに、町外の講師も招き、内容の充実に努めた。						
	事業名		成果指標名	単位	H22年度	H23年度	決算額(円)
成果指標	生涯学習学級		登録者数	人	439	384	H22 727,950 H23 759,412
							H22 H23
							H22 H23
							H22 H23
							H22 H23
							H22 H23
事業の課題	【継続的な課題】 開催している生涯学習の学級がここ数年同じ内容で推移している。受講者には人気があり継続しているが、社会情勢や住民ニーズを的確にとらえながら新しい学級や講座の開催を検討することが必要である。生徒が減少している生涯学習学級があり、学級の内容等を検討する必要がある。各種学級の参加者にアンケートを実施し、住民のニーズを反映する必要がある。						
	【新たな課題】						

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	【継続的な課題に対する改善方法及び結果】 学級や講座の開催については、住民ニーズ等を把握し、必要に応じ学級運営の見直しや新設を検討したが、本年度も前年度同様の学級体制のニーズがあり同じ学級運用をする。受講者からは、前年度同様の学級体制でのニーズが高いため、本年度においても前年度同様に体制を変えず学級運用を継続しているが、別の角度から見るとマンネリ化・固定化といった状況でもあり考えられるので、学級生全体にアンケートを実施しニーズを把握するとともに、各学級の運営委員会において検討・協議を行い充実を図る。また、新しい学級や講座の開催も検討する。生徒が減少している生涯学習学級の対策として、現学級を魅力ある学級として運営の改善を図るため今後もカリキュラムの検討を行う。					
	【新たな課題に対する改善方法の検討】					

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	事業の方向性について、現状維持が見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
・住民が主体的に学習ができる学級運営を行う。 ・地域の社会資源を掘り起こし活用する。		

平成23年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	青少年の健全育成	担当課名	生涯学習課	総合計画位置づけ	第1章・第2節の
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の健全育成のため、問題行動の解決に向けた地域ぐるみの取り組みを推進するとともに、関係機関と連携し、早期発見・早期指導の体制充実を図ります。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>青少年育成三郷町民会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年問題の重要性に鑑み、関係機関および団体が緊密な協力により、広く町民の総意を結集し次代を担う青少年の育成を図る。 <p>親子のつどい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活力と創造性に満ちた青少年を育成するとともに、親子・地域社会等のふれあいを築くことを目的とする。 <p>教育講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次代を担う青少年の育成を図ることを目的として講演会を開催する。 <p>非行防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有害図書類等に対する立入調査の実施（年1回）。また、関係団体の協力のもと、夏休み・春休みに町内の巡視を行う。 <p>成人式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新成人の門出を祝福するため「成人式」を開催する。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>青少年育成三郷町民会議</p> <p>指導推進部会</p> <p>幼保小中高の様子や長期休業期間の生活の様子などについて意見交換を行い、情報を共有すると共に各学校園に持ち帰り児童生徒等の指導にあたる。</p> <p>調査研究部会</p> <p>平成24年2月23日に「植村牧場」を訪問し、当該牧場の概要と牧童として働いている知的障害者の就労支援の成果等について説明していただいた。</p> <p>啓発促進部会</p> <p>町民会議の各種事業について、関係機関等に事業開催の案内やポスターの作成及び掲示を行った。</p> <p>地域活動部会</p> <p>親子のつどいの開催について部会を開催し、関係機関と協議・連携を行い事業を実施した。</p> <p>関係機関との連携</p> <p>「三郷町要保護児童対策地域協議会」や「定例人推・児童館連絡会」と連携を図り、幼児・児童生徒がおかれている現状を認識し、青少年の育成を図った。</p> <p>親子の集い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年11月23日に「親子のつどい」を開催し、三郷中央公園多目的広場では、家族での参加によるグラウンドゴルフ、文化センターでは体験学習として親子で粘土キャンドルづくりを楽しんでいただき、昼食時にはカレーライスを食べていただくなど、親と子、子ども同士のつながりを図ることができた。 <p>教育講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年11月8日に「教育講演会」を開催し、講師に音楽療法士高本恭子さんを迎え講演会を開催した。 <p>非行防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平郡町と三郷町合同による有害図書等の巡視を11月15日に実施した。 ・関係機関の協力のもと、学校の長期休業期間に町内を公用車において巡視した。 （巡視時間 20時～22時） 夏休み期間 7月21日・26日・28日、8月2日・4日・16日・18日・23日・25日 春休み期間 3月26日・27日・29日・30日 <p>成人式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三郷町文化センター及び三郷町スポーツセンターにおいて実施した。 <p>開催日 平成24年1月8日（日） 参加人数 165人</p>
---------	---

4 点検評価・課題(CHECK)

達成度(成果)の分析	事業の成果、目的に対する達成度などを記入。 青少年育成三郷町民会議 ・関係機関の協力・連携を図り、各部会の活動も予定どおり行うことができ、青少年の育成が図られた。 親子のつどい ・平成23年11月23日に実施し、86名の参加があった。【成果指標】 教育講演会 ・平成23年11月8日に実施し、191名の参加があった。【成果指標】 ・参加者に対しアンケートを実施したところ、多くの方が講演内容について良かったと評価され、今後も参加したいとの意見が多かった。特に今年度は、評価の高い講演会であった。 非行防止 ・13回の巡視で活動を行い12件の指導を行った。【成果指標】 成人式 ・対象者247人に対し参加者が165人、出席率としては66.8%であった。【成果指標】					
	成果指標	事業名	成果指標名	単位	H22年度	H23年度
	親子のつどい	参加人数	人	114	86	H22 718,114
	教育講演会	参加人数	人	304	191	H23 645,620
	非行防止巡視	巡視回数	回	12	13	H22 205,955
	成人式	参加人数	人	142	165	H23 260,320
						H22
						H23
事業の課題	【継続的な課題】 非行防止 ・巡視において青少年に対して指導は行うが、補導等の権限がなく警察との連携が必要となっている。 成人式 ・参加者が少なく、参加率の向上が必要である。					
	【新たな課題】					

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	【継続的な課題に対する改善方法及び結果】 警察との連携として、所轄の警察署や交番に巡視時に同行を依頼したが、警察署は西和7町を管轄しており7町すべてに同じ対応は出来ないことから断られるが、初日のみ同行あり。初日以外については、これまで同様に青少年育成三郷町民会議の委員である町内各種団体代表の皆様と協力を頂き、非行防止巡視において青少年に対して指導を行う。 成人式の参加率を向上させるため、新成人が成人式に関心をもつ内容になるよう、新成人の意見などを取り入れるよう検討中である。					
	【新たな課題に対する改善方法の検討】					

6 今後の計画・方向性(P.L.A.N)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	事業の方向性について、現状維持が見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
・青少年の育成は地域の協力が必要不可欠であり、今後も関係機関等が連携を密に図りながら取り組みを行う。 ・教育講演会においては、町の行事等と併せて実施することにより、参加人数の増員が図られることから三郷町文化祭実行委員会と連携し、平成24年度は、町民文化祭とタイアップして行う。		

平成23年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	人権教育・啓発の推進	担当課名	生涯学習課	総合計画位置づけ	第4章・第1節の
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 住民の自発的な啓発活動を促進するため、情報や学習機会の提供などの支援を強化するとともに、学校教育や社会教育を通じて人権教育の内容の充実を図ります。 行政、関係機関・団体の連携によって、住民の立場に立った、利用しやすい人権相談窓口と体制の充実を図ります。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>識字学級</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育を受ける権利を保障されなかった方に文字などを学習する機会を提供する。 <p>人権教育地区別懇談会</p> <ul style="list-style-type: none"> 暮らしの中にある疑問や不合理などを話し合い、人権問題を身近な問題としてとらえ人権確立を図る。 <p>人権問題学習セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> 人権教育の推進を図るための人権問題学習セミナーを実施する。 <p>人権に関わる相談や対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 人権に関わる相談や人権侵害事象に対応するため、関係機関と連携を図りながら問題解決を行う。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>識字学級</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎週月・木曜日に学級を実施し、学級生は学習意欲が高く熱心に学習されていた。 登録者数：5人 学習内容としては、文字の練習、数字の計算等を学んだ。 <p>人権教育地区別懇談会</p> <ul style="list-style-type: none"> 本町で、平成23年2月から奈良県初となる「本人通知制度」が導入されたこともあり、個人情報の保護と有用な活用で地域のつながりを紡ぎ直し、安全で潤いのあるまちづくりについて、人権尊重の視点で考えていただくきっかけになることを願い、「個人情報の保護について ～地域のつながりを紡ぎ直す～」をテーマに町内15会場で開催した。 延べ参加人数：505人 <p>人権問題学習セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間5回のセミナーを行った。 内容は講座として「子どもの人権を守るために～学校・地域・家庭でできることは～」・「高齢者の人権を守ろう」・「一緒に考えよう。外国人と共に住むために」を演題として3回開催した。 また、現地学習として大阪市の「ATCエイジレスセンター・大阪人権博物館」・奈良市の「奈良市人権啓発センター・興福寺周辺」の現地に赴き学習を行った。 延べ参加人数：253人 <p>人権に関わる相談や対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 人権問題啓発活動推進本部、人権教育推進協議会などの関係機関と連携を図り、「第23回人権を確かめあう日 県内一斉集会」、「差別をなくす町民集会」などの人権に関わる事業を共に行った。 随時人権相談に応じるとともに、三郷町要保護児童対策地域協議会などとも連携を図り問題解決にあたった。
---------	--

4 点検評価・課題(CHECK)

達成度(成果)の分析	<p>事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>識字学級</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間通して週2回の開催計画で実施しているが、学級生の都合により休校した日もあり、年間で63回の開催となった。【成果指標】 人権教育地区別懇談会 参加者が前年度に比べ増加した。また、参加者にアンケートを実施したところ、「保護だけでなく、活用の大切さがわかった」「活用の必要性はわかるが、悪用があるのでなかなか難しい」「人間関係の再構築の必要性を感じた」という回答があった。【成果指標】 人権問題学習セミナー 参加者が前年度に比べ減少したが、人権に関する講座や現地学習を行うことにより、共に生きる地域づくりが図られた。【成果指標】 人権に関する相談や対応 関係機関と連携を図り、人権に関する相談等に応じた。
------------	--

成果指標	事業名	成果指標名	単位	H22年度	H23年度	決算額(円)	
		識字学級	実施回数	回	50	63	H22
	人権教育地区別懇談会	参加者数	人	490	505	H22	362,150
	人権問題学習セミナー	参加者数	人	281	253	H22	211,950
						H23	13,645
						H23	397,900
						H22	245,750
						H23	

事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>識字学級 学級生の高齢化や健康上の都合から出席人数が減っており、学級生全員の出席が望まれる。</p> <p>人権教育地区別懇談会 参加者数が少しずつ増加しており、今後も一人でも多くの参加が望まれる。</p> <p>人権問題学習セミナーの参加が昨年度より減少したことから、より多くの方に参加していただける内容の企画が望まれる。</p>
	<p>【新たな課題】</p> <p>人権教育地区別懇談会や人権問題学習セミナーにおいて、若年層の参加が少ないため講座の内容等検討する必要がある。</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>識字学級は、参加人数を増やすため、町広報等で生徒募集を行う。また、学級生が参加しやすい曜日や時間帯を検討したが、現行での運用で行うこととした。</p> <p>人権教育地区別懇談会及び人権問題学習セミナーについては、参加者の増加を図るため、自治会をはじめ関係機関へ周知をより一層行うとともに、懇談会のテーマについてもその時の社会情勢などを勘案しながら取り組んでいく。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<p>事業の方向性について、現状維持が見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p>(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <p>・人権は誰もが持っている普遍的な権利であり、差別のない人権が尊重される地域社会を目指すため、情報や学習機会の提供を図るとともに、今後も人権相談等の体制を充実する。</p>
	<input type="checkbox"/> 見直し	

平成23年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	文化センターの充実	担当課名	生涯学習課	総合計画位置づけ	第1章・第3節の
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 講座修了のグループが、個々の活動を自主的に展開できるよう、コーディネート体制の確保を図ります。 施設の有効利用を図るため、使用料の設定など、運営の改善に努めます。 施設の機能向上を図るため、利用者のニーズにあった改修を計画的に進めます。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>グループ活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 自主的な文化活動を行うグループなどに対し、有意義な活動ができるよう支援を行う。 <p>各種講座の開設</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化センターにおいて、町民の芸術文化に対する関心を高めてもらうため、文化講座、健康講座等を実施する。 <p>指定管理者の指定</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間の経営や事業展開のノウハウを活用し、より充実した施設管理を行うため、財団法人三郷町文化振興財団を指定管理者に指定する。それにより当該財団の自主事業との相乗効果が期待できる。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	公開講座	[単位/人]		
	・映像歴史教室	延べ受講者数	41 5回開催	
	・源氏物語	延べ受講者数	53 5回開催	
	・新しい環境への人の適応能力	延べ受講者数	31 2回開催 奈良産業大学	
	・経済学から日本の過去と現在を考える	延べ受講者数	35 2回開催 公開セミナー	
		合計	160	
	文化講座・健康講座	[単位/人]		
		講座名	内 容	延受講者数
	1	パッチワーク&お針物	基礎的な技法を学び、日常小物から大判の外ストリまで制作する。	184
	2	絵手紙	草花や日常生活品を題材にして、絵と言葉を彩やかに表現します。	182
	3	声楽	発声練習しながら、親しみやすい日本の歌曲を歌います。	238
	4	ピアノ	初心者向けで、基礎からMP3まで学びます。	77
	5	着付け教室	初歩から始まり、段階を経て着物の着方と帯結びを習得します。	84
	6	初級中国語	発声練習と簡単なあいさつから始まり、会話レベルまで習得します。	122
	7	おしゃれ*パーソナル	自分に似合う色を知り、魅力を引き出し楽しい生活を送ります。	70
	8	フラダンス	自然賛歌を全身で表現するフラダンスの基礎を学びます。	113
	9	気功	気功体操を通じて、健康増進と座禅による精神の安定を学びます。	96
10	やさしい太極拳	入門太極拳の8つの動作を学びます。	115	
11	ヨガ	やさしいアサと呼吸法で、心と体の整え方を学びます。	107	
12	ボディメイク	ヨガのポーズを取り入れ、体の様々な部分の筋力を高めます。	116	
13	キッズダンス	柔軟、バレエ、ステップを組み入れたレッスンで、集中力、表現力を身につけます。	118	
14	こどもフィットネス	手遊び、遊具遊びを取り入れて体を動かし、リズム感を育てます。	100	
15	健康ストレッチ体操	ウォーキング法を学び、簡単なダンスのステップで全身ストレッチを学びます。	114	
16	ゆる体操初級	疲労やストレスで固くなった体をヨガ、気功、呼吸法を取り入れてほぐします。	140	
17	ピラティス入門	体幹を安定させ、心と体のバランスを整えるシェイプアップ体操です。	119	
		合計	2,095	
	文化センター利用者数	[単位/人]		
	・文化ホール	8,354		
	・展示ホール・ロビー	6,390		
	・会議室・研修室・音楽室等	26,582		
	・創作室・和室・視聴覚室等	16,131		
	・その他(リハーサル室ほか)	9,560		
	合計	67,017		

4 点検評価・課題(CHECK)

達成度(成果)の分析	<p>事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>公開講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「映像歴史教室」「源氏物語」に加えて、新たに奈良産業大学「公開セミナー」を開設したところ、これまでになかった講義内容で一部専門的な内容も含まれていたことから、参加者の評価には温度差があったが、工夫次第で楽しめる講座になると考える。【成果指標】 <p>文化講座・健康講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度は、住民からの要望に応じて、文化講座と健康講座を合わせて17講座を実施し、延べ2,000人余りの方々が参加された。受講者数は、前年度を下回ったが、これからも内容の充実を図り、住民の皆様喜んでいただけるよう努力する。【成果指標】 <p>文化センター利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度と比べ利用者が減少している原因として、東日本大震災による活動の自粛によるものと考えられる。【成果指標】
------------	---

	事業名	成果指標名	単位	H22年度	H23年度	決算額(円)
成果指標	公開講座	参加者数	人	96	160	H22 145,000
						H23 319,000
	文化教室	参加者数	人	3,251	2,095	H22 2,511,000
						H23 1,800,000
	文化センター	利用者数	人	79,050	67,017	H22 36,815,539
H23 37,480,853						
					H22	
					H23	

事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>文化講座・健康講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民が要望する講座を適時適切に開設する必要がある。 <p>施設の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経年劣化による不具合や故障が頻発しており、計画的に改修する必要がある。
	<p>【新たな課題】</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>文化講座・健康講座については、様々な機会を通じてアンケートを実施するなど住民要望を把握するとともに、社会情勢を的確に捉えて実施する。</p> <p>文化事業については、音楽、演劇等の様々な文化鑑賞事業を行うとともに、みんなで第九をコンサートなど住民参加型事業の充実に努める。</p> <p>施設の営繕については、緊急度と財政状況を勘案しながら計画的に改修する。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者の指定により一定の成果があることから、今後も教育委員会事業と文化振興財団事業の連携により住民の自主的な文化活動の支援体制を強化する。 		

平成23年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	文化活動への支援	担当課名	生涯学習課	総合計画位置づけ	第1章・第3節の
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 文化活動団体について、地域の文化活動を支える人たを掘り起こし、それぞれに魅力を持たせ、会員の輪を広げていきます。 今後も、文化活動団体育成のための支援に努めます。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>いろいろな分野から生涯学習の指導者等を掘り起こし、文化活動はもとより身近な生活課題や地域づくり等につながる学習活動の支援ができるシステムを整備する。</p> <p>三郷町各種団体等運営補助金交付要綱に基づき、各諸団体の活動及び運営に要する経費を予算の範囲内で補助金として交付し、文化の振興及び向上を図る。</p> <p>三郷町文化協会 三郷町地域婦人団体連絡協議会 三郷町子ども会連合会 三郷町文化祭実行委員会 三郷町芸術祭実行委員会</p>
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>生涯学習の指導者等の活用支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習の学級や子ども人権学習支援事業の講師の選定において、地域の団体・個人と連携を図ることにより指導者の掘り起こし及び講師としての協力を得ることができた。 家庭教育学級 7回（健康体操、調理学習、体験学習等） 長寿学級 6回（健康体操、健康学習等） くれない学級 5回（健康体操、調理学習、教養講座等） 地域放課後子ども教室推進事業 7回（軽スポーツ、ゲートボール、調理体験等） <p>団体への助成</p> <p>三郷町文化協会（補助金額：320,000円） 目的：町の文化活動の中核団体として、文化の振興と向上、会員相互の親睦を図り、かつ個人の教養を高める。 主な事業：総会、文化協会まつり、人権学習会を開催し、随時役員会を開催。第43回町民文化祭の運営に協力するとともに、研修会等を開催し会員の知識の向上を図ることができた。</p> <p>三郷町地域婦人団体連絡会（補助金額：360,000円） 目的：会員相互の親睦を図り、教養を高め家庭生活の樹立と平和で民主的な社会の建設に努めるとともに、女性の地位向上を目指す活動の支援・協力を行う。 主な事業：総会、環境学習等の学習会、町の各事業への参加、また、老人福祉施設へのボランティアを行った。</p> <p>三郷町子ども会連合会（補助金額：288,000円） 目的：子どもたちの健全育成を図るとともに、三郷町子ども会連合会活動を通して地域の連帯力と子どもたち一人ひとりの社会生活能力を高める活動の支援・協力を行う。 主な事業：総会、子ども会の日（8月8日）にプール遊び等を実施。他に、リーダー研修会、まぜこじやの会、どろんこあそびの会等を開催した。</p> <p>三郷町文化祭実行委員会（補助金額：710,748円） 目的：町民文化祭の開催にかかる企画、準備、運営等を協議する。 主な事業：第43回町民文化祭を開催し地域文化の振興を図ることができた。</p> <p>三郷町芸術祭実行委員会（補助金額：373,414円） 目的：三郷町芸術祭の開催にかかる企画、準備、運営等を協議する。 主な事業：町民と近在住民の芸術に対する関心を高めるとともに、交流振興を図ることを目的に「第24回三郷町芸術祭」を開催し、164点の作品が出展され、1,046人の来場者があった。</p>
---------	---

4 点検評価・課題(CHECK)

達成度(成果)の分析	事業の成果、目的に対する達成度などを記入。 生涯学習の指導者等の活用支援 ・生涯学習を行う機会において、地域の指導者の協力を得て活用することにより、より活発な活動ができた。 団体への助成 ・文化の振興、芸術の向上に寄与するため、各種団体に補助金を交付し所期の目的を達成できた。【成果指標】 三郷町文化祭実行委員会 ・平成23年10月22日・23日に、町内の多くの団体との協働により第43回町民文化祭を開催し多数の来場者があり身近な文化にふれあうことができた。【成果指標】 三郷町芸術祭実行委員会 ・平成23年9月8日～11日に第24回三郷町芸術祭を開催し、164点の作品の出品があった。町内外の文化の振興、芸術の向上が図られた。【成果指標】 ・参加者にアンケートを実施したところ、多くの方が現行の開催方法で良いとの意見であった。					
	成果指標	事業名	成果指標名	単位	H22年度	H23年度
各団体への補助金		補助金額	円	946,000	968,000	H22 946,000 H23 968,000
三郷町文化祭実行委員会		参加団体数	団体	83	89	H22 689,580 H23 710,748
三郷町芸術祭実行委員会		来場者数	人	886	1,046	H22 358,135 H23 373,414
						H22 H23
						H22 H23
事業の課題	【継続的な課題】 生涯学習の事業実施に伴い、地域に埋もれている指導者等の人材を掘り起こすシステムづくりが必要である。 三郷町地域婦人団体連絡協議会については、会員数が年々減少しており、会員を増加し、組織力を強化する必要がある。					
	【新たな課題】					

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	【継続的な課題に対する改善方法及び結果】 人材を掘り起こすため、地域や団体・機関と連携を図り、指導者等の人材確保と支援に努める。 婦人会の会員を増加させるため、広報等で周知を図ったが、会員数がなかなか増えないため、新たな方法を検討する必要がある。					
	【新たな課題に対する改善方法の検討】 町のホームページを利用し、婦人会の会員募集を行う。					

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	事業の方向性について、現状維持が見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
・地域に埋もれている貴重な人材掘り起こし、様々な学習活動の支援をいただくとともに、指導者の育成及び支援を合わせて行う。 ・現在活動をされている団体・個人に対しても引き続き支援を行う。		

平成23年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	図書館の充実	担当課名	図書館 (生涯学習課)	総合計画位置づけ	第1章・第3節の
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の生涯学習に対するニーズに応えるため、蔵書・資料の充実を図り、資料収集を継続します。 ・誰もが気軽に利用できる住民の学習、ふれあいと憩いの場とするため、各種館内サービスや行事の充実に努めます。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>資料・情報の提供 子どもから高齢者まで様々な方々の求める資料・情報を的確に提供する。そのためには幅広く資料・情報の収集を行い、利用者にてできるだけ早く提供する。また、館内の端末によりインターネット情報の提供も行う。</p> <p>子どもの読書の推進 乳幼児向け（ブックスタート、ゆりかごおはなし会）、児童生徒向け（おはなし会、土曜の午後のおはなし会、夏のつどい、冬のつどい、本の森探検隊）など年齢層にあわせた子ども向けの行事を継続して実施することにより読書の推進を図る。</p> <p>生涯学習事業の推進 毎週土曜日に映画上映会を行うとともに、ギターマンドリンコンサートなどの演奏会や講演会を実施し、生涯学習の場として憩いの空間を提供する。</p>
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	平成23年度統計		
		平成22年度	平成23年度
	蔵書冊数	222,253冊	227,405冊
	入館者数	204,765人	202,527人
	貸出人数	92,619人	92,872人
	貸出冊数	287,177冊	278,011冊
	図書館行事		
	行事名	概要	参加人数
	ブックスタート	7ヶ月検診にあわせて赤ちゃんと保護者に絵本の世界に誘う	138人
	ゆりかごおはなし会	0～2歳の幼児と保護者対象に絵本の読み聞かせ・手遊びなどを行う	206人
おはなし会	毎週日曜日に小さい子ども向け、大きい子ども向けに分けて絵本の読み聞かせやストーリーテリングなどを行う	936人	
土曜の午後のおはなし会	土曜日にお話しボランティアによって絵本の読み聞かせやストーリーテリングを行う	105人	
夏のつどい	ペープサートや人形劇など子ども向けの行事を行う	43人	
映画上映会	名作映画の上映会を実施した	3,007人	
本の森探検隊	テーマを設定した本を探して楽しみつつ本に親しむ	22人	
フロアコンサート	年5回図書館の開架室でギターマンドリンコンサートを行った	212人	
大人のためのストーリーテリング	大人向けにストーリーテリングの面白さを伝えるために実施した	20人	
四国八十八か所講演会	四国霊場を徒歩で回られた方からの体験談をお聞きした	25人	
大正琴コンサート	大正琴の素敵な音色で楽しい時間を過ごした	180人	
ギター演奏会	ギターのグループによる演奏会	180人	
冬のつどい	ペープサートや人形劇など子ども向けの行事を行う	35人	
子ども読書講演会	子どもの育ちと絵本の世界	11人	
図書館講演会	三郷町の自然災害	52人	
春日敏邦日本画展	三郷町在住の日本画家の作品を展示した	380人	
写真展	東日本大震災で被災した図書館の写真展	230人	
ぬいぐるみととじょかんおとまり会	預かったぬいぐるみが図書館で遊んでいる姿をアルバムにして渡す	16人	
レファレンスサービス	<p>資料の所蔵調査や文献の調査などカウンターや電話、文書で寄せられる質問に対して、図書館資料を使って回答する。さらに県立図書館情報館に協力依頼して回答を行う場合もある。</p> <p>図書館のHPの充実を図り、インターネットにより蔵書の検索、予約、貸出期間の延長などを実施している。モバイル端末でも同様に検索、予約、延長が可能である。</p> <p>ティーンズコーナーを設置して中高生向けの資料を別置して提供している。</p> <p>図書館システムを更新して、利用者用検索パソコンとインターネット検索パソコンの機能向上により利用者の利便性を高めた。</p> <p>国の地域活性化交付金（住民生活に光をそそぐ交付金）を活用して、大活字本、DVD、調べもの学習用児童書などを購入して蔵書の充実を図った。</p>		

4 点検評価・課題(CHECK)

達成度(成果)の分析	<p>事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>資料・情報の提供 国の「地域活性化交付金」を活用して、約7600点の資料を購入し利用者の読書要求に応えた。年間貸出者数は増えているが、貸出冊数は減少した。また、図書館への入館者数も前年を下回った。【成果指標】</p> <p>子どもの読書推進 乳幼児向け（ブックスタート、ゆりかごおはなし会）、児童生徒向け（おはなし会、土曜の午後のおはなし会、夏のつどい、冬のつどい、本の森探検隊）など年齢層にあわせた子ども向けの行事を年間通じて実施した。しかし、参加者総数は前年度比25%の減少となっており、来館者数の増加を図りつつ、行事への参加をより一層募る必要がある。【成果指標】</p> <p>生涯学習の推進 映画上映会は大変好評で、入場者数は平成22年度より増加した。また、住民の関心の高い自然災害の講演会や日本画展、東日本大震災の写真展などを実施した。【成果指標】</p> <p>図書館システムの更新 新システムに更新することで機器及びシステムの大幅な機能強化が行われ、利用者検索用パソコンの利便性の向上とインターネットパソコンの検索スピードのアップが図られた。</p>
------------	--

成果指標	事業名	成果指標名	単位	H22年度	H23年度	決算額(円)		
	資料情報の提供	貸出冊数	冊	287,177	278,011	H22	10,504,778	H23
子どもの読書推進	参加者数	人	1,967	1,501	H22	261,840	H23	229,110
生涯学習の推進	参加者数	人	3,525	4,297	H22	60,000	H23	50,000
					H22		H23	
					H22		H23	

事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>図書館を利用されていない方々に対していかに図書館を利用していただくかを検討する。 おはなしボランティアを増やすこと。 小中学校や保育所、幼稚園などとの連携を一層進める。</p>
	<p>【新たな課題】</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>絵画展や写真展などを実施して、普段図書館に来館していない方々への呼びかけを行うことで、参加者数が伸びているが、子どもの読書推進の各行事については減少している。各行事の周知をより進めるために、子育て支援センターや幼稚園、保育園を通じてPRを進めていく。 今年度は子どもの読書講演会を行ったが、平成24年度には読み聞かせの講座を実施予定しており、絵本の読み聞かせなどにボランティアの参加を募る。 学校への団体貸出や図書館の見学会を実施しているが、さらに小中学校の図書室の現状を把握して、協力できることを探り、連携、交流を進めたい。また幼稚園に絵本や紙芝居の大量貸出を行い、協力を行った。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<ul style="list-style-type: none"> ・町民への資料情報の提供という図書館の基本的業務を確実に実施しながら、様々な行事を通じて図書館の魅力をアピールして、さらに多くの方々が図書や情報に触れ、親しむ環境作りをさらに進める。 ・平成24年度から小中学校図書室の機能充実を図るため、町立図書館との定期的連絡会を設置する。 		

平成23年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	文化財の保護と活用	担当課名	生涯学習課	総合計画位置づけ	第2章・第4節の
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・国・県と連携しながら文化財保護に努め、案内看板・説明看板の整備など環境の整備に努めます。 ・民間団体による調査活動を支援するとともに、住民団体と協力して歴史的資料の発掘及び保全・管理をするための調査を進めます。 ・文化財の保全・管理・展示を行う郷土資料室のあり方について検討します。 ・ボランティアの育成に努めながら、地域の歴史にふれる機会の充実を図ります。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>文化財の保護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後世に継承すべき文化財の保護保存をしていくため、国・県等の関係機関と連携を図りながら町内の文化財の確認作業及び指定文化財等への保存助成、環境整備を行う。 ・文化センター内に設置している「郷土資料室」の有意義な活用を図る。 <p>文化財の啓発・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内の文化財について広く町民等に啓発できるよう、企画立案する。 <p>地域の歴史学習の機会の提供等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の一環として、地域の歴史を学ぶ教室を開催する。また、歴史・文化財に係る地域のグループ等がより充実した活動ができるよう協力・支援する。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>文化財の保護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、町内には国指定重要文化財3点、県指定文化財1点、町指定文化財全13点、国登録文化財1点がある。 それぞれの文化財の保存及び活用については、その所有者と連携を図り適切な対応を行った。 ・遍照院シダレザクラの樹木消毒の維持管理経費の一部を助成するとともに、薬隆寺八幡神社の防火設備点検費の一部を補助した。 ・奈良県からの委嘱により、定期的に町内文化財の巡視と適切な保護を行った。 <p>文化財の啓発・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史・文化のグループである「史学さんごう」により、教育委員会協力のもと「三郷路ふるさと散歩～文化財と史蹟のガイドブック～」の改訂版を発行し、町内にある文化財の啓発を行った。 ・町内にある文化財の啓発用看板の点検及び不良個所の修理等を行った。 <p>文化・歴史学習の機会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の学級として「歴史教室」を開講し、身近な歴史等を学ぶ機会を提供した。 ・また、三郷町に関わる万葉歌が多く謳われていることをなどを踏まえ、「みさと万葉学習会」を開講し、歴史のロマンに触れた。 <p>埋蔵文化財</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度の三郷中央公園多目的広場建設に伴い、約15,000年前の石器のアトリ工跡である「勢野東遺跡」が発掘されたことにより、平成23年5月27日に記者発表を行った。 また、平成23年度より3カ年計画により、勢野東遺跡発掘調査報告書の作成業務を奈良県に委託している。
---------	--

4 点検評価・課題(CHECK)

達成度(成果)の分析	事業の成果、目的に対する達成度などを記入。 文化財の保護・啓発・活用 ・文化財の維持管理に伴う経費を助成するとともに、町内の文化財の定期的な巡視を行うことにより、適切な文化財の保護が行えた。【成果指標】 ・また、「三郷路ふるさと散歩」の改定版を発行し新聞紙上に掲載することにより、多くの町内外の方に三郷町の歴史に関わる史跡等の啓発・活用がなされた。 学級の開催 ・「歴史教室」は102人、「みさと万葉学習会」では60人の登録があり、1年を通じて歴史文化に親しむことができた。					
成果指標	事業名	成果指標名	単位	H22年度	H23年度	決算額(円)
	遍照院シダレザクラ	消毒業務	有無	有	有	H22 80,000 H23 70,000
	薬隆寺八幡神社	防火施設点検(県補助額)	有無	有	有	H22 15,000 H23 15,000
						H22 H23
						H22 H23
						H22 H23
事業の課題	【継続的な課題】 町内の各家屋等に眠っている貴重な文化財を掘り起こし、適切な管理のもと文化財保護に努める。文化財の啓発看板が老朽化しており、改修等の必要がある。「勢野東遺跡」の今後の活用方法について検討する必要がある。 <hr/> 【新たな課題】					

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	【継続的な課題に対する改善方法及び結果】 文化財の掘り起こしについては、地域や関係機関との連携を密に行い、町内の文化財に関する情報を収集する。 文化財の啓発看板等については、定期的に巡回し、不良箇所がないか確認し必要に応じて修理等を行う。「勢野東遺跡」について、県立橿原考古学研究所に分析依頼するとともに、その結果を踏まえて活用方法を検討する。 <hr/> 【新たな課題に対する改善方法の検討】					
------------	--	--	--	--	--	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	事業の方向性について、現状維持が見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止 ・平成23年度から3力年かけて「勢野東遺跡」の調査分析を県に依頼しており、その結果を踏まえ展示や看板等、今後の活用方法について検討する。 ・文化財を観光資源の1つとし、案内看板の補修、新設を行い地域の活性化を図る。

平成23年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	生涯スポーツの推進	担当課名	生涯学習課	総合計画位置づけ	第1章・第4節の
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 誰でも継続的に気軽に楽しめるスポーツの機会を提供するため、指導者やボランティアリーダーの育成に努めます。 健康づくりや交流の場となる軽スポーツの普及に努めます。 青少年のスポーツ活動の振興を図り、そのための環境整備や自主的な活動への支援に努めます。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>スポーツの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツを通して町民が生涯にわたり心身ともに健康な生活を営むため、三郷町体育協会や三郷町スポーツ少年団、及び三郷町スポーツ推進委員などと連携し、スポーツを推進するとともに、身体づくり及び健康づくりを図る。 <p>軽スポーツ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分にあったスポーツライフの実現と競技の技量を身につけてもらうことを目的に、各種スポーツ等を実施する。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>スポーツの推進</p> <p>町民体育祭の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域社会がスポーツイベントを通じてスポーツに親しみ、町民の輪を広げることをテーマに、三郷町体育協会主催で三郷町スポーツ少年団や他の各種団体の協力のもと、10月9日に三郷中央公園多目的広場において第41回町民体育祭を開催した。 <p>野球審判講習会</p> <ul style="list-style-type: none"> 盛んなスポーツの一つとして野球があるが、試合等の審判及び指導者の育成を行うとともに、ルール等の改正に対応するため、4月17日に講習会を開催した。 <p>関係団体に補助金の助成</p> <p>【三郷町体育協会】</p> <p>目的：スポーツの普及振興と競技団体の育成強化を図り、町民の健康増進と体力の向上に努め、明るく活力ある地域社会づくりに寄与する。</p> <p>補助金額 1,954,237円</p> <p>【三郷町スポーツ少年団】</p> <p>目的：加盟団体の資質の向上を図り、スポーツ振興意欲を高める。</p> <p>補助金額 668,936円</p> <p>三郷町スポーツ推進委員</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども人権学習支援事業や福祉関係のイベントなどに出向き、スポーツ振興のため住民に対しスポーツの実技指導等を行った。 <p>軽スポーツ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 三郷町スポーツ推進委員のもと9月25日に軽スポーツフェスティバルを開催し、軽スポーツの普及に取り組んだ。
---------	---

4 点検評価・課題(CHECK)

達成度(成果)の分析	<p>事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>スポーツの推進及び軽スポーツ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 町の社会体育の最大イベントである第41回町民体育祭を10月9日に、三郷中央公園多目的広場において町体育協会及びスポーツ少年団等の協力により開催した。平成22年度は、雨天中止で景品等を本年度に持ち越したことにより、例年より少額の予算で運営ができた。【成果指標】 三郷町スポーツ推進委員が地域に出向き、軽スポーツ等の振興を図ることができた。 <p>関係団体に補助金の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> 「町体育協会」及び「町スポーツ少年団」に補助金を助成し、スポーツ振興に関わり育成及び強化を図ることができた。【成果指標】 					
成果指標	事業名	成果指標名	単位	H22年度	H23年度	決算額(円)
	三郷町体育協会	補助金	円	1,821,997	1,954,237	H22 1,821,997 H23 1,954,237
	三郷町スポーツ少年団	補助金	円	800,000	668,936	H22 800,000 H23 668,936
	町民体育祭	補助金	円	650,933	468,555	H22 650,933 H23 468,555
						H22 H23
						H22 H23
事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>昨今、新しいスポーツ種目が発案されていることから、本町においてもその種目の取り入れ方法を検討するとともに、既存の種目においても、競技人口が減少しているものがあり今後の運営の在り方を検討する必要がある。</p> <p>住民の主体的な運営により、すべての世代の住民が楽しめる「総合型地域スポーツクラブ」を創設する。</p>					
	<p>【新たな課題】</p>					

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>新しいスポーツ種目については、競技の目的・ルール等を十分把握し、実施市町村等へ出向くなど情報の収集及び分析を行い、地域への普及を検討する。</p> <p>「総合型地域スポーツクラブ」の創設に向け、関係機関との連携及び情報交換を行うとともに、その準備段階である設立準備委員会の設置に向け、事業計画案及び予算案を検討し、平成24年度中に早期立ち上げを目指す。</p>					
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>					

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	事業の方向性について、現状維持が見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>・誰もが親しみ楽しめるスポーツの普及を行うため、「総合型地域スポーツクラブ」の設立に向けて、関係機関との協議や予算措置を図り、出来るだけ早い時期にクラブを設立する。</p>		

平成23年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	スポーツ施設の整備	担当課名	生涯学習課	総合計画位置づけ	第1章・第4節の
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの人々が気軽に生涯スポーツを楽しめるよう、現有施設の有効利用を図り、誰もが利用しやすい施設改善を図ります。 ・将来的に、財政状況も考慮しつつ、自主的・主体的な総合型地域スポーツクラブの設置を検討します。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>スポーツ施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の整備・充実を図るとともに、生涯スポーツと競技スポーツを連携し、運動能力向上の拡充に努めることを目的に、地域スポーツの振興と拡大及び社会体育を推進する。 <p>指定管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間の経営や事業展開のノウハウを活用し、より充実したスポーツ施設の管理運営を行うためスポーツセンター及びウォーターパークを合わせて管理運営を行う。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>スポーツ施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各施設は、設置からかなりの年月が経ち、経年劣化により施設の維持修繕が必要になっていることから、修繕、改修を行い施設利用に支障のないよう安全安心な施設運用を行った。 <p>竜田運動公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民が体育に関心を高め、その普及と向上発展を図るために設置。 利用種目：成人及び少年野球、ソフトボール、グラウンドゴルフ、サッカー、テニス等 施設整備：テニスコート舗装沈下部改修、給水管布設及び洗面器取替、真砂土の入替え等を行った。 (決算額：2,194,810円) <p>勢野グラウンド</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民が体育に関心を高め、その普及と向上発展を図るために設置。 利用種目：少年野球、女子ソフトボール、少女ソフトボール 施設整備：真砂土の入替えを行った。(決算額：196,787円) <p>スポーツセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、健康で文化的な生活の向上を図るために設置。 利用種目：卓球、軽スポーツ、少林寺拳法、健康体操、バレーボール等 施設整備：舞台吊物機構設備改修、更衣室ロッカー入替、地下電気タイマー設置を行った。 (決算額：1,453,863円) <p>ウォーターパーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの振興及び体力の維持増進を図り、心身の健全な発達と健康で明るい生活の向上を図るために設置。 施設整備：2階空調機器取替、重油タンク液面計取替、漏水修理等を行った。(決算額：7,413,540円) <p>スポーツ施設の新規運用</p> <p>新設により、平成23年3月26日運用開始。(決算額：3,487,216円)</p> <p>中央公園多目的広場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の体力の維持増進を図り、心身の健全な発達と健康で明るい生活の向上に寄与するために設置。 利用種目：成人及び少年野球、ソフトボール、グラウンドゴルフ、サッカー、ターゲットパードゴルフ等 <p>指定管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間のノウハウを生かし効率的かつ効果的な施設運営を行うため、平成22年度から3年間スポーツセンター及びウォーターパークを合わせて(株)翔成へ指定管理を行った。 (指定管理料28,000,000円) <p>施設利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健民グラウンド</td> <td>31,735 人</td> </tr> <tr> <td>テニスコート</td> <td>8,291 人</td> </tr> <tr> <td>中央公園多目的広場</td> <td>43,326 人</td> </tr> <tr> <td>勢野グラウンド</td> <td>3,293 人</td> </tr> <tr> <td>スポーツセンター</td> <td>77,231 人</td> </tr> <tr> <td>ウォーターパーク</td> <td>56,928 人</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	利用者数	健民グラウンド	31,735 人	テニスコート	8,291 人	中央公園多目的広場	43,326 人	勢野グラウンド	3,293 人	スポーツセンター	77,231 人	ウォーターパーク	56,928 人
施設名	利用者数														
健民グラウンド	31,735 人														
テニスコート	8,291 人														
中央公園多目的広場	43,326 人														
勢野グラウンド	3,293 人														
スポーツセンター	77,231 人														
ウォーターパーク	56,928 人														

4 点検評価・課題(CHECK)

達成度(成果)の分析	事業の成果、目的に対する達成度などを記入。 スポーツ施設の整備 ・維持修繕や施設改修を行い、安全で安心な施設利用をしていただくことができた。【成果指標】 スポーツ施設の新規運用 ・中央公園多目的広場の新設でスポーツ施設が増えたことにより、例年以上に住民の体力の維持増進、心身の健全な発達と健康で明るい生活の向上と充実が図れた。 指定管理 ・平成21年度まではウォーターパークのみを指定管理としていたが、平成22年度からウォーターパーク及びスポーツセンターを合わせて指定管理とし、民間のノウハウを生かすことができ、効率的・効果的な施設運営と経費の削減を図ることができた。【成果指標】					
成果指標	事業名	成果指標名	単位	H22年度	H23年度	決算額(円)
	施設整備	決算額	円	13,692,546	14,746,216	H22 13,692,546 H23 14,746,216
	指定管理	指定管理料	円	28,000,000	28,000,000	H22 28,000,000 H23 28,000,000
						H22 H23
						H22 H23
						H22 H23
事業の課題	【継続的な課題】 施設の維持管理 ・施設の経年劣化により、施設の不具合や故障が発生し維持管理が困難になっているため、計画的な施設改修等が必要である。					
	【新たな課題】					

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	【継続的な課題に対する改善方法及び結果】 施設改修等については、財政状況を勘案し、緊急性の高いものから計画的に改修を行う必要がある。					
	【新たな課題に対する改善方法の検討】					

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	事業の方向性について、現状維持が見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止 ・住民が望む生涯スポーツを推進するため、現体育施設の適正な維持管理を行うとともに施設整備を行う。

学識経験者の知見の活用

1. 点検評価有識者

平成23年度実施分の点検・評価を行うにあたり、客観性を確保するため、下記の学識経験者を点検評価有識者に委嘱し、7月・8月に2回のヒアリングを実施し、指導及び助言を受け、報告書に所要の修正を行った。

点検評価有識者：日本学生支援機構理事（元大阪教育大学教授）
米川 英樹

2. 指導・助言の内容

なお、今年度の報告書の総括と次年度以降に改善すべき課題として、以下の指導及び助言をいただいた。

三郷町教育委員会の平成23年度にかかる「教育に関する事務の点検及び評価報告書」は、昨年度に大幅な改善を行っており、今年度はこれを受ける形でなされた。具体的には、基本方向、事業概要・目的については、前年をほぼ踏襲している。その他の部分については、実績と結果、達成度、成果指標、課題等については、事業の実際に応じて改定がなされている。全体として、PDCAサイクルは確立されているように思われる。また、記述についても、表を多く用いるなど昨年度よりも改善がみられ、シートはより見やすくなっている。さらに、昨年度指摘がなされた予算措置の分類、すなわち国費か県費か町費のいずれによる施策かという点でも記述に改善が見られ、施策の透明性が、高くなってきている。

一方で、一部の記述で、独創性や新鮮さがなくなっている傾向や、課題のより詳細な分析が必要な箇所も散見され、次年度以降の更なる改善も求められる。

全体として、平成23年度にかかる「教育に関する事務の点検及び評価報告書」は、昨年度からの改善の努力が見られるものとなっており、引き続き、今後の改善への取り組みに期待したい。

平成24年8月13日

米川 英樹